官報

第七千六十六號

明治四十年一月二十一日　月曜日

印刷局

○省令

大藏省令第一號

鐵道國有法第四條ニ依リ政府ノ承繼シタル舊山陽鐵道株式會社社債ニ關スル規程左ノ通之ヲ定ム

明治四十年一月二十一日　大藏大臣　法學博士阪谷芳郎

第一條　舊山陽鐵道株式會社社債ニ關シテハ日本銀行本店ヲ以テ取扱店トス但シ無記名債券ニ關スル事務ハ日本銀行支店及出張所ニ於テモ之ヲ取扱フヘシ

第二條　無記名舊山陽鐵道株式會社社債券又ハ其ノ利札ノ滅失又ハ紛失ニ因リ代債券若ハ代利札ノ交付又ハ元金ノ償還若ハ利子ノ仕拂ヲ受ケントスル者ハ國債規則第十七條又ハ第六十二條ノ規定ニ準シタル請求書ニ除權判決ノ正本又ハ謄本ヲ添ヘ之ヲ取扱店ニ提出スヘシ

第三條　國債規則第八條、第十三條第一項、第十六條乃至第十八條、第四十八條乃至第五十一條、第五十八條及明治三十九年大藏省令第二十五號ノ規定ハ舊山陽鐵道株式會社社債ニ之ヲ準用ス

第四條　山陽鐵道株式會社社債券取扱手續第二十八條ニ規定セル印紙稅相當ノ金額ハ自今之ヲ納ムルコトヲ要セス

附　則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

○告示

農商務省告示第十四號

森林法第十六條ニ依リ左記ノ保安林ヲ解除ス

明治四十年一月二十一日　農商務大臣　松岡康毅

國	郡	町村	大字	字	地番	面積	所有者
下總	千葉	生實濱野	南生實	古城	二三	〇、〇二二九	國
同	印旛	彌富	宮內	前田	三六	〇、〇五一三	同
同	千葉	椎名	中西	中西台	三二	〇、〇四二九	日玉社

遞信省告示第十七號

明治三十九年九月遞信省告示第四百十六號外國電信取扱制限表中イスランド島ノ項ノ次ニ左ノ一項ヲ追加ス

明治四十年一月二十一日　遞信大臣　山縣伊三郎

ジヤマイク島　キングストンニ宛ル電報ハ其ノ條送上順序遲延又ハ不達ノ責ニ任セス

○敍任及辭令

○明治四十年一月十九日

兼任鹽務局事務官　稅務監督局事務官　黒田　英雄

敍高等官七等　稅務監督局事務官　杉　一郎

兼任鹽務局事務官

敍高等官七等

任第一高等學校敎授　第三高等學校敎授從六位　山川　幸雄

敍高等官四等

任第三高等學校教授　從六位　菅　虎雄

敍高等官五等

任高知縣技師　正七位　吉田　守一

敍高等官六等

依願免本官　內務技師　熊谷　直道

依願免兼官（以上一月十九日內閣）　通信技師兼愛知縣技師　和達陽太郎

京都府事務官　島田剛太郎

府縣制第六十五條第三項ニ依リ京都府參事會員ヲ命ス

宮城縣事務官　西村陸奥夫

府縣制第六十五條第三項ニ依リ宮城縣參事會員ヲ命ス

熊本縣事務官　石川　啓

府縣制第六十五條第三項ニ依リ熊本縣參事會員ヲ命ス

福島縣事務官　平田　武二

府縣制第六十五條第三項ニ依リ福島縣參事會員ヲ命ス

和歌山縣事務官　佐藤孝三郎

府縣制第六十五條第三項ニ依リ和歌山縣參事會員ヲ命ス

靜岡縣事務官　員谷　彰

府縣制第六十五條第三項ニ依リ靜岡縣參事會員ヲ命ス

本文 7066 号

府縣制第六十五條第三項ニ依リ大分縣參事會員ヲ命ス　大分縣事務官　川口彦治
府縣制第六十五條第三項ニ依リ福井縣參事會員ヲ命ス　福井縣事務官　池松時和
府縣制第六十五條第三項ニ依リ奈良縣參事會員ヲ命ス　奈良縣事務官　横山三郎
府縣制第六十五條第三項ニ依リ埼玉縣參事會員ヲ命ス　埼玉縣事務官　今野東吾
土地收用法第三十八條第二項ニ依リ京都府收用審査會委員ヲ命ス　京都府事務官　島田剛太郎
土地收用法第三十八條第二項ニ依リ宮城縣收用審査會委員ヲ命ス　宮城縣事務官　西村陸奥夫
土地收用法第三十八條第二項ニ依リ熊本縣收用審査會委員ヲ命ス　熊本縣事務官　石川啓
土地收用法第三十八條第二項ニ依リ福島縣收用審査會委員ヲ命ス　福島縣事務官　平田武二
土地收用法第三十八條第二項ニ依リ和歌山縣收用審査會委員ヲ命ス　和歌山縣事務官　佐藤孝三郎
土地收用法第三十八條第二項ニ依リ靜岡縣收用審査會委員ヲ命ス　靜岡縣事務官　昌谷彰
土地收用法第三十八條第二項ニ依リ大分縣收用審査會委員ヲ命ス　大分縣事務官　川口彦治
土地收用法第三十八條第二項ニ依リ福井縣收用審査會委員ヲ命ス　福井縣事務官　池松時和
土地收用法第三十八條第二項ニ依リ奈良縣收用審査會委員ヲ命ス　奈良縣事務官　横山三郎
土地收用法第三十八條第二項ニ依リ埼玉縣收用審査會委員ヲ命ス　埼玉縣事務官　今野東吾
奈良縣收用審査會委員ヲ免ス　北海道廳事務官　濱田恒之助
福島縣收用審査會委員ヲ免ス　宮城縣事務官　西村陸奥夫
大分縣收用審査會委員ヲ免ス　熊本縣事務官　石川啓
福井縣收用審査會委員ヲ免ス　靜岡縣事務官　昌谷彰
埼玉縣收用審査會委員ヲ免ス　奈良縣事務官　横山三郎
石川縣收用審査會委員ヲ免ス　富山縣事務官　長野幹
年俸參拾圓下賜(以上一月十九日内務省)　高知縣技師　吉田守一
東京鹽務局在勤ヲ命ス　鹽務局事務官　黒田英雄
横濱鹽務局在勤ヲ命ス　鹽務局事務官　杉一郎
大藏省臨時建築部第二課兼務ヲ命ス　鹽務局技師(大藏省臨時建築部技師)　直木倫太郎
株式會社宮城縣農工銀行監理官ヲ命ス(以上一月十九日大藏省)　宮城縣事務官　西村陸奥夫

徳島縣三好郡池田町大字池田村字サラダ千六百三十七番地　田中キヌ
故陸軍歩兵上等兵田中富藏明治三十七八年戰役ノ功ニ依リ特ニ金五百貳拾圓ヲ賜フ
三重縣一志郡境村大字大原六番屋敷　平岡梅吉
故陸軍歩兵一等卒平岡唯之助明治三十七八年戰役ノ功ニ依リ特ニ金四百七拾圓ヲ賜フ
東京市下谷區竹町一番地　津下ぬゑ
故陸軍歩兵少尉津下市五郎明治三十七八年戰役ノ功ニ依リ特ニ金五百五拾圓ヲ賜フ
山梨縣東八代郡豐富村四百三十五番戸　石原多七
故陸軍歩兵上等兵石原由太郎明治三十七八年戰役ノ功ニ依リ特ニ金貳百六拾圓ヲ賜フ
青森縣南津輕郡大杉村大字高屋敷二十五番戸　加藤彦左衞門
故陸軍歩兵上等兵加藤千代策明治三十七八年戰役ノ功ニ依リ特ニ金貳百六拾圓ヲ賜フ
福島縣伊達郡飯野村大字飯野字町九十七番地　鹽谷ミツ
故陸軍歩兵一等卒鹽谷孫兵衞明治三十七八年戰役ノ功ニ依リ特ニ金貳百四拾圓ヲ賜フ
鳥取縣東伯郡東竹田村大字加谷村四百五十四番地　藤原久能
故陸軍歩兵一等卒藤原正一明治三十七八年戰役ノ功ニ依リ特ニ金貳百參拾圓ヲ賜フ
宮城縣桃生郡大鹽村大窪三十四番地　大崎よしみ
故陸軍歩兵二等卒大崎與右衞門明治三十七八年戰役ノ功ニ依リ特ニ金貳百貳拾圓ヲ賜フ
茨城縣久慈郡佐都村大字白羽五番地　大津藤八郎
故陸軍歩兵二等卒大津藤一郎明治三十七八年戰役ノ功ニ依リ特ニ金貳百貳拾圓ヲ賜フ
富山縣婦負郡細入村大字笹津百七十九番地　平野かの
故陸軍輜重輸卒平野彦七明治三十七八年戰役ノ功ニ依リ特ニ金貳百貳拾圓ヲ賜フ
福岡縣三池郡銀水村大字白銀五百七十八番地　塚本カセ
故陸軍輜重輸卒塚本彌吉明治三十七八年戰役ノ功ニ依リ特ニ金貳百貳拾圓ヲ賜フ
石川縣金澤市松本町八十二番地　藤田つる
故陸軍二等計手藤田學領明治三十七八年戰役ノ功ニ依リ特ニ金百八拾圓ヲ賜フ

山形縣東置賜郡沖郷村大字蒲生田千二百九十番地　高橋クラ
故陸軍歩兵二等卒高橋吉彌明治三十七八年戰役ノ功ニ依リ特ニ金百拾圓ヲ賜フ
廣島縣賀茂郡廣村千二百三十三番屋敷　森千代助
故陸軍歩兵二等卒森寛六明治三十七八年戰役ノ功ニ依リ特ニ金百拾圓ヲ賜フ
京都市上京區河原町通廣小路上ル中御靈町九番戸　三輪とみ
故陸軍看病人三輪秀雄明治三十七八年戰役ノ功ニ依リ特ニ金七拾圓ヲ賜フ(以上一月十八日陸軍省)

免本職補嚴島副長　八雲副長海軍中佐　松岡修藏
免本職　嚴島副長海軍中佐　西尾雄治郎
待命被仰付但横須賀ニ滯在スヘシ(以上一月十九日海軍省)　海軍中佐　西尾雄治郎
補千葉區裁判所檢事兼千葉地方裁判所檢事　豫備檢事(東京區)　武富濟
十一級俸下賜　千葉區裁判所檢事　武富濟
岡山地方裁判所及同檢事局並岡山區裁判所及同檢事局ニ於テ事務修習スヘシ　司法官試補(津山區)　田邊喜一
岡山區裁判所檢事代理ヲ命ス(以上一月十八日司法省)　司法官試補　田邊喜一
年俸六百圓下賜(一月十日岐阜縣)　岐阜縣工業技師　小山十一郎
十級俸下賜但當分年俸七百六拾圓支給　廣島縣立廣島高等女學校敎諭　中山正心
十一級俸下賜但當分年俸六百六拾圓支給(以上一月十二日廣島縣)　廣島縣立廣島高等女學校敎諭　泉本覺一郎

正誤

一昨十九日本報三五一頁上段小泉親治ノ上春雨ハ春風ノ誤　海軍省副官

○宮廷錄事

○謁見　今般信任狀捧呈濟ノ本邦駐箚佛蘭西國特命全權大使オーギュスト、ジェラール及瑞典國特命全權公使グスタフ、オスカル、ワレンベルクハ一昨十九日午前十時三十分參内　皇后陛下ニ謁見仰付ケラレ又同時御序ヲ以テ佛蘭西國大使館參事官フェルナンド、クージェー、同大使館附武官陸軍大佐男爵セー、ペー、コルヴィザール、同海軍大尉マルチニー、同大使館二等書記官エミール、ダール、同三等書記官男爵プロスペル、ド、バーラント竝ニ瑞典國公使館新任一等書記官ハロルド、ド、ビルドハ　皇后陛下ニ謁見仰付ケラレタリ

○彙報

○官廳事項

○官吏發著　曩ニ上京ノ愛媛縣事務官西久保弘道ハ一昨十九日出發歸任セリ

○官吏死去　豫備陸軍歩兵少尉正八位大磯俊夫ハ昨三十九年十一月十三日、同二等主計從七位勳六等増谷榮造ハ本月一日孰モ死去セリ

警察及監獄

○出火　北海道及東京府外三縣ニ於ケル出火左ノ如シ

北海道　昨三十九年十二月三十一日午後十時北見國斜里郡斜里村ヨリ出火民家一戸燒失、燒死者一同十一時鎭火、本月二日午後一時同國紋別郡網走村ヨリ出火民家一戸燒失、燒死者一同時三十分鎭火原因孰モ過失ナリ

東京府　本月十八日午後八時七分北豐島郡南千住町大字地方橋場百三十七番地ヨリ出火全燒八十戸、半燒十九戸、電燈、電話柱各二本、同九時四十九分鎭火、一昨十九日午前六時五十四分東京市四谷區荒木町二十七番地ヨリ出火全燒劇場一棟、住家七戸、半燒第三煙草製造所一棟、住家七戸、燒死者一同七時三十二分鎭火原因孰モ過失ナリ

茨城縣　本月十七日午後十時三十分久慈郡太田町ヨリ出火民家二十戸燒失同十二時鎭火原因詳ナラス

愛知縣　本月十四日午後十時四十分寶飯郡一宮村ヨリ出火全燒一戸、燒死者三、負傷者二同十二時鎭火セリ

岡山縣　本月十四日午前一時頃川上郡大賀村大字上大竹ヨリ出火居宅一戸全燒、燒死者二、負傷者一原因過失ナリ

○全國囚人罪名別　昨三十九年十一月末日現在全國囚人罪名別左ノ如シ(△印ハ減)

罪名	三十九年十一月末日現在 男	女	計	同年十月末日現在	三十八年十一月末日現在	増減 前月比較	増減 前年比較	三十九年十一月中ノ新受刑者	前月比較増減
官吏ノ職務ヲ行フヲ妨害ス	一一二	三	一一五	一一六	一四三	△一	△二八	二二	△七
附加刑ノ執行ヲ遁ル	三六	—	三六	四四	五五	△八	△一九	一八	△八
貨幣僞造	九五二	二一	九七三	九八五	九二四	△一二	四九	一	△二三
官印官文書僞造	一、五八七	八	一、五九五	一、五九八	一、六三〇	△三	△三五	四五	△八
私印私書僞造	一、二〇八	二六	一、二三四	一、二六二	一、二八一	△二八	△四七	一三四	△二四
僞證	二二	—	二二	一八	二一	四	一	一〇	一
賭博	一、七六六	八六	一、八五二	一、八五七	一、六二〇	△五	二三二	九三九	△一七一
謀殺	一、六〇二	一八一	一、七八三	一、七七五	一、七五八	八	二五	二〇	△二
故殺	一、一六一	四三六	一、五九七	一、五八六	一、五三五	一一	六二	二一	二
毆打創傷	一、九〇九	三七	一、九四六	一、九三四	一、七六五	一二	一八一	一七三	△五二
墮胎	一六	四〇	五六	六〇	四六	△四	一〇	一二	△四
猥褻姦淫重婚	二四七	三六	二八三	二八三	三二〇	—	△三七	一九	△五
誣告及誹毀	六五	二	六七	七〇	四一	△三	二六	三三	△八
竊盜(次ノ三項ヲ除ク)	二三、四二〇	七九九	二四、二一九	二四、三〇〇	二三、〇五五	△八一	一、一六四	二、四〇三	△一八三
掏摸	二五一	三	二五四	二五五	一八四	△一	七〇	三九	△四

第7066号 本文

第7066号 本文

(二)樹木監視及街路取締人ニ對スル講習（三週間）（學人　非學人　一〇M）
(三)果樹取扱講習（婦人ノタメ）六日間（學人六M　非學人九M）
(四)同（男子ノタメ）六日間　同
(五)葡萄蟲驅除講習（三日間）
(六)葡萄酒釀造、酵母利用及病理ニ關スル講習十四日間（學人四〇M　非學人四五M）
(七)葡萄酒ニ關スル化學的試驗講習（十四日間）　同
(八)果酒釀造及取扱ニ關スル講習（十四日間）

右ノ外一ニ項目ニ就キ專修セントスル者ニ對シ實地研究生ナルモノヲ置ク（此者ハ毎月授業料トシテ學漏西（プロイセン）人二十馬非學漏西人二十五馬外國人五十馬ヲ納メ他ニ器具藥品料トシテ毎月二十馬ヲ納ム）

又本科生ノ授業料ハ

第一、第二學期（毎學期八十馬）
第三、第四學期（毎學期百馬）

寄宿舍室料（毎月二十馬）
賄料（毎月六十馬）

本所ニ屬スル土地面積ハ三三、〇三四「エクタール」ニシテ敎室及寄宿舍ノ外左ノ如キ施設アリ

(A)學理ニ關スル部
(一)植物生理實驗所
(二)葡萄ニ關スル化學研究所
(三)植物病理實驗所
(四)酵母純粹培養所
(五)氣候觀測所
(六)植物、礦物、物理學、化學、植物病理學標本陳列
(七)電氣發動所
(八)圖書館

(B)實地ニ關スル部
(一)試驗葡萄園、實地葡萄園
(二)葡萄酒釀造所及藏酒場
(三)果樹苗園
(四)果樹育成園
(五)果樹管理園
(六)游樂園（樹木種類園、硝子舍トモ）
(七)農具陳列所
(八)果實標本陳列所
(九)家畜舍
(十)農場
(十一)葡萄改良試驗場
(十二)肥料試驗地

(七)ボン高等農學校（Bonn. P. ph.）

千八百四十七年高等農業講習所ノ名ヲ以テ設立セラレ千八百六十年程度ヲ高メテ高等農學校トナシ千九百年ニ於テ現行諸規程ヲ定メタリ

當初ヨリ本年春季ニ至ル學生數左ノ如シ

(イ)農科學生	二五二一
(ロ)測量及土木科學生	二一三八
(ハ)撰科生（ボン大學學生ニシテ本校ノ講義ヲ聽カル者ヲ含ム）	七〇九
合計	五三六八

本校昨年度ノ經費ハ約三十万馬ニシテ敎官二十六名アリ左ノ如キ施設ヲ爲セリ

(一)測量學部
(二)理學部
(三)化學實驗室
(四)動物生理學部
(五)植物學部
(六)動物飼養及酪農部
(七)土壤學及作物學部
(八)器械器具試驗場（新器械ヲ試驗シ之ヲ批評決スルヲ爲ス）

此外敎務用設備及標本等ヲ擧クレハ左ノ如シ

(イ)圖書室約二万册
此外各部付小圖書室アリ
(ロ)敎室
(ハ)農業標本及農具類ノ蒐集
(ニ)礦物及岩石標本
(ホ)動物及動物生理標本
(ヘ)生產物標本
(ト)林業標本
(チ)獸醫學標本
(リ)機械學標本及機械學實驗室
(ヌ)園藝、葡萄及果樹生產物標本
(ル)養蜂ニ關スル標本
(ヲ)土木學及建築學ニ關スル標本

此外ゼヒテム（Sechtem）ニハ百二十三haノ農場ヲ有シ此所ニ乳牛四十五頭ヲ置キ飼養及經濟試驗ヲ爲セリ

學生ヲ分チテ左ノ三種トス
(一)農學科學生
(二)土木工學科學生
(三)測量及土木工學科學生（土地測量ノ職ニ從事セントスル志望者）

此外ボン大學學生ニシテ農業上ノ智識ヲ修得センカタメ本校ニ來テ講義ヲ聽ク者アリ是レ多クハ法律及經濟學科ノ學生トス

要スルニ本校ハボン大學ト最密ノ關係ヲ有シ本校ノ敎官ニシテボン大學敎官タルモノアリ大學敎官ニシテ本校敎官タルモノアリ特ニ本校ノ學生ハボン大學理科ノ學生トシテ入學手續ヲ了セシムルノ規程ナリ

本科學生ノ外ニ一二科目ヲ專修シ若クハ短日月間ニ數科目ヲ修了セントスル者ノタメ撰科生ヲ置ク

本校敎科課程ハ四學期即チ二箇年トス但シ其始業、期限、終業ニ關シテ全クボン大學ト關聯ス

授業料ハ	一學期　百二十馬	病氣金庫料	二馬
外ニ　敎室料	一、五〇馬	保險料	一馬

又化學實驗ヲ爲ス者ハ器具、藥品料トシテ毎學期十五馬ヲ拂フモノトス

本校ニ於テハ左ノ試驗ヲ行フ
(イ)農學科卒業試驗
(ロ)農學校ニ於ケル農學敎員タラント欲スル者ニ對スル試驗
(ハ)牧畜監督官タラントスル者ニ對スル學術上ノ試驗
(ニ)隘地測量家タラントスル者ニ對スル試驗
(ホ)土木工學科卒業試驗

之ヲ要スルニ本校設備ヲ能ク整頓セリト謂フヘシ盖シ創立後年ヲ經ル既ニ久シク漸次短ヲ補ヒ缺ヲ綴リ以テ今日アルニ至レルナリ殊ニ植物營養ニ關スル部門ノ如キハ近年ノ改造ニ係リ頗ル見ルヘキモノアルヲ認ム

(八)ダルムスタット農事試驗場（Darmstatt）

植物營養及農藝化學試驗場トシテ名頗ル顯ハル場長ハ斯界ニ有名ナルワダネル氏（geh. Hofrat Prof. Dr. Paul Wagner）ニシテ千八百七十一年ノ創設ニ係リ場長住宅ニ接シテ實驗所ヲ置キ燐酸定量部、加里定量部、窒素定量部及其他特別室ニ別チ試驗成蹟物ノ分析ト同時ニ盛ニ肥料、飼料等ノ分析ヲ爲セリ即チ一昨千九百四年ニ於テハ其數七千七十三點ノ多キニ達シ年々平均七千點ヲ下ラス後方ニ試驗園アリ千九百餘ノ圓筒形植木鉢ヲ備ヘ或ハ無底ノ圓筒ヲ地中ニ埋メ或ハ有底圓筒ヲ鐵軌ニ依リテ硝子舍ニ出入セシムルノ裝置ヲ爲シ以テ種々ノ作物ニ對シ營養試驗ヲ爲セリ今本場カ繼續試驗トシテ執行セル主ナルモノヲ擧クレハ左ノ如シ

(一)磷化加里ヲ過剩ニ施セル地區ノ後作ニ及ス作用
(二)窒素ニ富メル加里鹽類ノ農作物ニ及ス效能
(三)收穫物中ニ含有スル曹達ノ割合
(四)收穫物中ニ含有スル鹽素ノ割合
(五)各種農作物ノ土壤中ヨリ攝收スル加里ニ就キテ
(六)加里肥料ノ藁稈、莢及穀實ニ及ス作用
(七)加里肥料ノ胡蘿蔔、甜菜及瓜哇薯ノ乾燥物質ニ及ス作用
(八)收穫物ノ含有スル加里成分ノ割合
(九)牧草ニ對スル「カイニット」肥料及四十%加里鹽類ノ效能
(十)各地ニ於ケル加里肥料ノ效能ニ對シ實際上（金錢）ノ得失
(十一)可溶性ノ「トーマス」燐肥ト難溶性ノ「トーマス」燐肥トノ效能比較
(十二)石灰窒素ノ效能ニ對スル試驗
(十三)大麥、燕麥及甜菜ノ種類ニ關スル試驗

其他葡萄花卉等種々ノ植物ヲ以テ營養試驗ヲ爲セルモノ少カラス花卉類ニ施セル化學的營養分ハ左ノ如キ割合ヲ規定シ以テ一種ノ營養液ヲ作リ其之ヲ施シタルモノ、少ク施シタルモノ、稍々施シタルモノ、頗ル施シタルモノ、最モ多ク施シタルモノニ分チ試驗セルヲ見ルニ孰モ其生長ヲ異ニシ其適量ヲ得タルモノ竝ニ其效能ノ差頗ル顯著ナルヲ認メリ

營養液ノ割合（十「リートル」中ニ含有スル分量）

	「グラム」
燐酸安母尼亞	一五〇
硝酸加里	一五〇
四十%加里鹽	五〇
硝酸曹達	二五〇
硫酸安母尼亞	四〇〇

（備考）右液ヲ施スニハ其十ccヲ五〇〇ccニ稀薄スヘシ

試驗圃場ニ沿フテ收穫物調製所、（乾燥所）撮影場、瓦斯機關室、農具室等アリ皆當場試驗ヲ遂行スルニ當リ實際ノ必要ニ迫ラレテ設備セルモノナリ要スルニ肥料試驗場トシテ間然スル所アルヲ見ス

(九)ロイトリンゲン果樹園藝學校

スツットガアト市ヲ距ル五十八「キロメートル」ナルロイトリンゲン（Reütlingen）ニ在リ本校ハドクトルルカス（Dr. E. S. Lucas）氏（千八百八十二年死去）カ千八百六十二年私費ヲ以テ設立セルモノニシテ現時ハ其子ルカス氏（Ökonomierat. Fr. Lucas）之ヲ維持セリ而シテ設立以來本年春ニ至ル四十六年間本校ヲ卒業セルモノ二千七百人ニシテ各々果樹園藝ニ關スル職務ニ從事セリ

本校果樹園ハ十二「エクタール」ニシテ外ニ八「エクタール」ヲ以テ建物其他附屬園ニ充ツ

本校ニ於ケル敎程ハ左ノ如シ

(一)樹木監理人ニ對スル講習
二箇月半
授業料三〇M、但シ勞働賃毎日三十文六十日間即チ十八馬ヲ支給ス

(二)果樹園藝人ニ對スル講習
七箇月
授業料　六〇M
其他雜費　二五M
但シ勞働賃一週一、五Mヲ支給

(三)果樹及園藝普通講習
一箇年
授業料　一〇〇M
雜費　三〇M
廢壺　二五M
賄料　四五〇―四八〇
但シ勞働賃ハ(二)ノ如シ

(四)果樹及園藝高等講習
一箇年
授業料　一四〇M
書籍器具　四〇M
廢壺　二五M
賄料　四八〇M
但シ勞働賃ヲ支給如上

(五)三年講習
毎半年授業料　六〇M
一箇年賄料　四八〇M
同書籍器具　四〇M
同廢壺　二五M
授業料ハ通シテ二四〇Mニシテ之ヲ一學年二學年間ニ徵了シ三學年ニハ之ヲ課セス但シ第三學年ニ於テ勞働賃ヲ給スルコト上ノ如シ
三年講習ハ初學ノ徒ニ根本的講習ヲ爲スヲ目的トス

本校ニ寄宿舍ヲ置キ四十五人乃至五十人ヲ容ルヽコトヲ得其他大小敎室、食堂、標本室、化學實驗室、事務室、蒸室、其他果實貯藏室、蔬菜貯藏室等ヲ設ク

本校ハ其生產物ハ勿論又果樹各種ノ苗木蔬菜花卉牧草等ノ種子、園藝用器具類ヲ發賣ス盖シ其收入ハ少カラサルモノアルヘク本校維持費ニ資シテ餘アルモノヽ如シ

(十)ガオシヤー私立果樹學校

ハスツットガート（Stüttgart）市ノ一端ガオシヤー街ニ在リ丘陵ニ據リ前面ノ平地後方ノ高丘悉ク果樹園ナリ中ニ儼然タル建物アリ之ヲガオシヤー（N. gaücher）ノ私宅トス

果樹園ノ手入周到綿密ニシテ一箇ノ雜草ヲ見ス而シテ果樹ヲ矯メテ種々ノ奇形奇態ヲ作リ人若シ其間ヲ歩ヲ移セハ眞箇一ノ遊樂園タルヲ失ハス建物ノ前面及左右ハ三箇ノ遊樂園否ナ果樹園ヲ繞ラシ後方ノ高丘ハ之ヲ營業的果樹園ト稱スヘキモノナランカ

生徒ハ三十人ヲ置クヲ得ルト雖モ實際ハ常ニ十五人ヲ出テス

本校ニハ校長（所有者）ノ外一人ノ敎師ナク一ノ敎室ナク敎授用器具器械ナク實驗室ナク授業ノ方法ヲ規定セルモノナク學校トシテノ施設一モ見ルヘキナシ而シテ自ヲ標榜シテ學校ト稱シ世人亦之ヲ學校ト認ム奇ナリト謂フヘシ

校長ガオシヤー氏ハ元ト佛國人ニシテ四十餘年前獨國ニ來リ居ヲ此地ニ占メテ果樹園ヲ開キ今ヤ巨萬ノ富ヲ有シ宏大ナル私宅ノ一部ニ傳習生ヲ置キ以テ自ヲ學校ト稱スルナリ（實地傳習塾トモ稱スヘキモノナランカ）

校長曰ク「本校ハ實地ヲ指導スルヲ目的トセリ若シ夫レ學理ノ如キハ書籍ヲ購求シテ一覽セハ直ニ理解スルヲ得ヘシ本校ニ於テ之ヲ敎ユルノ必要ヲ認メスト」是ニ於テカ生徒ハ早朝ヨリ晩夕ニ至ルマテ常ニ果樹園ニ出テヽ手入、栽培、管理等ノ作業ニ從事スルモノトス而シテ其修業年限ノ如キモ一定スル所ナク一年ニテ了ルモノアリ二年ニテ了ルモノアリ三年ニテ了ルモノアリ（但シ少クモ一年修了セサルヘカラス）

生徒ハ總テ校長宅ノ一部ニ寄宿セシメ而シテ敢テ授業料等ヲ徴セス（初メ一箇月食料五十馬ヲ徴スト雖モ其技能ノ進歩スルニ從ヒ又勉勵ノ程度ニ揣リ食料其他一切徴セサルノミナラス或ハ幾分ノ給料ヲ交付スルコトアリトス）

(十一)高等農業及麥酒釀造學校

バイエルン王國立ハフライシング町（Freising）ノ傍ナルヴアエンステフアン（Weihenstephan）ニ在リ千八百四年、講習所トシテ創設セラレタリシカ三年後廢止ノ運命ニ會シ千八百二十二年ミユヘン市ノ傍ナルSchleissheimニ再設セラレ千八百五十二年此地ニ移轉シ高等講習所ト稱シ千八百九十五年遂ニバイエルン王國立高等農業及麥酒釀造學校ヲ形成スルニ至レリ

本校ニハ農學部及釀造部ノ二部アリ合テ三〇一haノ面積ヲ有セリ農學部ハ二箇年ノ課程ニシテ之ニ入學スヘキ者ハ一年兵役ヲ了リタル者且ツ少クモ一年以上實業ニ從事シタル者トス（此外ニ別科又ハ聽講生ノ設アリ）釀造部ハ一年ノ課程ニシテ入學者ノ條件ハ前ニ同シ

本校事業ヲ遂行センカタメ左ノ實驗所、試驗地等ヲ備フ

(一)化學實驗室
(二)農藝化學部
(三)顯微鏡竝ニ醱酵生理實驗室
(四)土壤實驗室
(五)王國立種子改良試驗場
(六)泥炭地改良試驗場
(七)解剖室、藥室、動物蕃殖
(八)黴菌學實驗室
(九)農用植物園及試驗地
(十)ホップ園
(十一)農用土木說明農場
(十二)植物病理部
(十三)養魚試驗場
(十四)農用及釀造用器械檢查所
(十五)麥酒釀造試驗場新、舊
(十六)麥酒釀造實驗室
(十七)酒精製造試驗及講習所
(十八)麥酒釀造ニ關スル工藝試驗場
(十九)酒精ニ關スル工藝部
(二十)養蜂場
(二十一)標本室
(二十二)氣候觀測所
(二十三)圖書室及講義室

本校ハ種々ノ講習ヲ爲ス
(一)酪農講習
(二)「ホップ」評價講習
(三)酒精製造講習
(四)陸軍文官ニ對スル講習
(五)麥酒釀造工藝ニ關スル傳習

本校附屬トシテ別ニ酪農學校、園藝學校ノ設アリ

本校ニ關シ記スヘキハ基本金ノ設定是ナリ本校ニ現存スル基本金ハ五万五千馬ニシテ之カタメ有名ナル麥酒釀造家プショル氏ノ如キハ（Josef Pschorr）一万馬ヲ寄附シ又マイヤー、ヂンケル（Mayer Dinkel）氏ノ如キハ四千馬ヲ寄附シタリ而シテ其他ノ寄附金ヲ合セ之ヲ利殖シ寄附金ノ評議委員五人ヲ置キ其評決ヲ以テ其半ヲ學資補助其他必要事項ニ支出スルヲ得ルト雖モ半ハ必ス之ヲ積立テ以テ五十万馬ニ達セシムルヲ目的トス

本校ニ於ケル麥酒釀造舊試驗場ハ較々宏大ニシテ儼然タル一箇ノ麥酒釀造場ナリ蒸氣汽罐ヲ据付ケ製氷ハ勿論各種ノ操作ニ便ス又麥酒釀造新試驗場ハ新築ノ工漸ク成リ將ニ本月ヲ以テ作業ニ從事セントス而シテ其新築施設ヲ見ルニ規模舊ニ比シ少ク小ナリト雖モ試驗研究ヲ目的トスルモノナルカ故ニ特別ノ裝置ヲ爲セルモノ少カラス又傍ニ化學實驗室アリ盛ニ研究材料ヲ分析セリ盖シ麥酒釀造學校トシテハ規模ノ大ナルト設備ノ完キトハ他ニ比敵スルモノナカルヘキカ（伯林釀造試驗場ノ麥酒部ヨリモ規模更ニ大ナリ）

(十二)農事中央試驗場

バイエルン王國立農事中央試驗場ハミユヘン（München）市ニ在リ千八百五十七年當國農事協會ノ大會ニ於ケル決議ニ據リ動物及植物生理研究ノタメ設立セラレ千八百六十九年之ヲ改造シ千八百七十二年政府ノ所管ニ移シ工業學校農學科ノ一部ト爲スニ至レリ千八百九十九年十七万五千馬ヲ支出シ本場ヲ新築シ試驗用畜舍、機械室（電氣發動器トモ）、化學實驗室四、秤量室三、小實驗室六、控室三、圖書室二等ヲ設ケ其他煖房及電氣裝置ヲ以テ室內空氣ノ流通ヲ便ニスルノ設備頗ル至レルモノアリ特ニ窒素定量ニ際シ隔離房ニ於テ操作スルノ必要ナク數十箇ノ分解用壜ヲ竝列シ之ヲ熱シ其有毒瓦斯ハ毫モ室內ニ散スルコトナクシテ直ニ導レテ外方ニ出ヅルカ如キ頗ル適切ナルヲ認ム本場ノ經費ハ三万四千五百馬（政府ヨリ二二、五〇〇、分析手數料一二、〇〇〇）ナリ

第7066号　本文

之ヲ要スルニ本場ノ主眼トスル所ハ肥料及飼料ノ分析鑑定ヲ爲シ試驗厩舍ヲ置キ飼養試驗ヲ執行スルニ在リ而シテ其設備タル頗ル適切輕便ニシテ事業ノ進行以テ期スヘキヲ見ル

（十三）農用植物試驗場

ハミユヘン市ノ一端ニ在リ政府ノ所管ニシテ千九百二年ノ設立ニ係ル本場ノ目的ハ農作物ノ改良竝ニ農業ニ關スル植物學上ノ試驗研究ヲ爲スニ在リ之ヲ換言セハ即チ肥料ニ關スルコト、植物育成ニ關スルコト、土壤、飼料及肥料ニ關シ黴菌學上ノ研究、植物病害ノ豫防、種子ノ研究及此等ニ關スル講習（講話等）ヲ爲スニ在リ昨千九百五年支出セル經費ハ三萬三千馬ナリ

本場ハ規模特ニ大ナルニアラサルモ能ク如上ノ目的ヲ遂行スルニ足レリ唯試驗圃場ハ比較的小ナルモノアルヲ認ム（場長ヒルトナー（Hiltner）氏ハ現時專ラ蘚科植物營養ニ關スル試驗研究ニ熱心從事セリ）

建物ハ三階建ニシテ上層ヲ各種ノ實驗室、標本室ニ供シ中層ヲ場長住宅、下層ヲ化學實驗室、蒸餾室等ニ充用セリ

（未完）

○財政

○外國貿易月表抄　大藏省ノ調査ニ係ル昨三十九年十二月中外國貿易月表抄左ノ如シ（昨三十九年十二月二十四日及本月十一日本欄內參看）（大藏省）

貨物輸出入

		十二月 三十九年	十二月 三十八年	全年分 三十九年	全年分 三十八年	全年分 三十七年
輸出	內國產	圓 四三、五八七、六三二	圓 三六、一一七、〇六七	圓 四一九、一八四、八七七	圓 三一八、二八八、六三三	圓 三一五、七二九、五九二
	外國產	二五六、五九二	四二〇、八六〇	四、五七〇、〇一五	三、二四四、九八七	三、五三一、三〇四
	計	四三、八四四、二二四	三六、五三七、九二七	四二三、七五四、八九二	三二一、五三三、六一〇	三一九、二六〇、八九六
輸入	外國產	三一、八五七、五一八	三三、八〇三、一四七	四一七、六二八、三四三	四八七、六七二、五六五	三七〇、八〇七、七九〇
	內國產	五六、三六九	六六、九一二	九五五、七六五	八六五、四九二	五五二、九四八
	計	三一、九一三、八八七	三三、八七〇、〇五九	四一八、七八四、一〇八	四八八、五三八、〇一七	三七一、三六〇、七三八
輸出入合計		七五、七五八、一一一	七〇、四〇七、九八六	八四二、五三九、〇〇〇	八一〇、〇七一、六二七	六九〇、六二一、六三四
輸出超過		一一、九三〇、三三七	二、六六七、八六八	四、九七〇、七八四	—	—
輸入超過		—	—	—	一六七、〇〇四、四〇七	五二、〇九九、八四二

金銀輸出入

		十二月 三十九年	十二月 三十八年	全年分 三十九年	全年分 三十八年	全年分 三十七年
輸出	金貨及金地金	二、九六一、〇〇〇	二、六四九、一九〇	二二、九八三、六三一	一四、七〇八、四一三	一〇六、〇二六、五六二
	銀貨及銀地金	六八六	一一、二五五	二、八〇〇、八〇五	一、六四六、三四四	一、七六九、二九七
	計	二、九六一、六八六	二、六六〇、四四五	二五、七八四、四三六	一六、三五四、七五七	一〇七、七九五、八五九
輸入	金貨及金地金	四〇五、五九四	六一一、二九七	三七、〇二一、八二七	二〇、一九二、九九五	五、四五六、三三三
	銀貨及銀地金	二二、〇〇〇	九三三、八七六	一〇、一八九、三七〇	一一、三一三、九七八	二八、四九〇、三二三
	計	四二七、五九四	一、五四五、一七三	四七、二一一、一九七	三一、五〇六、九七三	三三、九四六、六五六
輸出入合計		三、三八九、二八〇	四、二〇五、六一八	七二、九九五、六三三	四七、八六一、七三〇	一四一、七四二、五一五
輸出超過		二、五三四、〇九二	一、一一五、二七二	—	—	七三、八四九、二〇三
輸入超過		—	—	二一、四二六、七六一	一五、一五二、二一六	—

貿易船舶出入

		十二月 三十九年 隻	噸	十二月 三十八年 隻	噸	全年分 三十九年 隻	噸	全年分 三十八年 隻	噸	全年分 三十七年 隻	噸
入港	汽船	九七九	一、七六五、六八七	七四三	一、三三八、九〇九	一〇、六五三	一八、九五六、五九六	七、八三三	一四、三五九、五三七	五、九九三	一一、三七六、九八二
	帆船	二〇四	九、二〇五	一八九	一一、四八五	二、四〇七	一二六、八五八	二、二一七	一一四、五四六	一、四三五	一二一、八〇三
	計	一、一八三	一、七七四、八九二	九三二	一、三五〇、三九四	一三、〇六〇	一九、〇八三、四五四	一〇、〇五〇	一四、四七三、〇八三	七、四二八	一一、四九八、八〇四
出港	汽船	九四七	一、七四八、〇〇一	七四九	一、三一八、一三六	一〇、六二五	一八、九二四、三三〇	七、七七五	一四、〇七五、七四〇	五、八九四	一一、一五九、三五二
	帆船	一三六	七、九二六	一四四	一一、八六一	二、四六七	一二六、五九二	二、三五〇	一二〇、〇八五	一、七八一	一三〇、〇五四
	計	一、〇八三	一、七五五、九二七	八九三	一、三二九、九九七	一三、〇九二	一九、〇五〇、九二二	一〇、一二五	一四、一九五、八二五	七、六七五	一一、二八九、四〇六

收税

	十二月 三十九年	十二月 三十八年	全年分 三十九年	全年分 三十八年	全年分 三十七年
輸入税	圓 三、五六二、三四一	圓 二、九九三、〇一九	圓 四一、一三〇、二八九	圓 三四、二九八、五一九	圓 二〇、五一九、九三八
噸税	四五、四九一	四二、〇一二	五九五、一九七	五一四、八四五	四三八、一七五
諸收入	三四、七五九	三二、二六一	三二三、一五七	三六七、七七〇	二七二、一二九
計	三、六四二、五九一	三、〇六七、二九二	四二、〇四八、六四三	三五、一八一、一三四	二一、二三〇、二四二

○縣税及罹災救助基金收支決算額　山梨縣ニ於ケル明治三十八年度縣税及罹災救助基金收支決算額左ノ如シ（△印ハ減）（山梨縣）

科目	決算高	豫算高	比較增減
縣税歳入			
經常部			
地租割	圓 二三二、二六七・九一	圓 二二七、九一三・〇六〇	圓 四、七八六・二九
營業税	二八、二三二・四〇三	三一、五四三・三六〇	△ 三、三一〇・九五七
雜種税	五七、九六六・六六七	六三、八五二・二一〇	△ 五、八八五・五四三
營業税附加税	一三、三二三・一四〇	一一、八四八・三三〇	一、四七四・八一〇
所得税附加税	一二、二五九・七〇〇	一二、三四五・七九二	△ 八六・〇九二
戶數割	九〇、七五九・四〇九	九一、〇四一・五〇〇	△ 二八二・〇九一
財產收入	一、八九〇・四四四	二、三八八・六九九	△ 四九八・二五五
國庫下渡金	一五、九四六・五二三	一五、八四五・二八八	一〇一・二三五
雜收入	三九、三四七・二六七	四七、〇六二・七五四	△ 七、七一五・四八七
合計	四六二、四七八・三三五	四八四、七四八・八一五	△ 二二、二七〇・四八〇
臨時部			
繰越金	三、四五一・五九五	五五、三六五・九九九	△ 五一、九一四・四〇四
國庫補助金	五、三二一・二九九	六、四四三・八〇五	△ 一、一二二・五〇六
寄附金	一、八八〇・九六九	五、九四六・〇一五	△ 四、〇六五・〇四六
財產賣拂代	一、四四四・〇〇〇	二〇、八四九・八九五	△ 一九、四〇五・八九五
縣債	四五、〇〇〇・〇〇〇	四五、〇〇〇・〇〇〇	—
合計	五七、〇九六・八六三	一三三、六〇五・七一四	△ 七六、五〇八・八五一
總計	五一九、五七五・一九八	六一七、三五四・四八七	△ 九九、八三六・二九一
同歳出			
經常部			
警察費	八七、八四〇・七二四	八八、二四五・五七一	△ 四〇四・八四七
警察廳舍修繕費	八五〇・五五二	八五一・一四三	△ 〇・五九一
土木費	六四、八七三・九一九	六六、二二二・一五二	△ 一、三四八・二三三
縣會議諸費	六、五七三・一九三	六、九二三・一九三	△ 三五〇・〇〇〇
衛生及病院費	八、八九五・八二一	九、五四五・八四一	△ 六五〇・〇二〇
教育費	九二、五二四・九七一	九三、八六八・四二一	△ 一、三四三・四五〇
郡廳舍修繕費	六五九・八〇八	六五三・二八四	六・〇二四
郡役所費	三五、七八六・八二四	三五、七〇八・九三五	七七・八八九
教育費	五二四・八一六	三五六・三七〇	一六八・四四六
諸達書及揭示諸費	二、八四六・二一二	二、四八八・六九五	三五七・五一七
勸業費	四〇、〇六七・二八八	四〇、九二二・〇八二	△ 八五四・七九四
縣税取扱費	一〇、六九三・三一一	九、五三四・五六一	一、一五八・七五〇
縣廳舍修繕費	五八〇・〇六〇	五六〇・七八五	一九・二七五
衆議院議員選擧費	三四・一九五	五六・五〇〇	△ 二二・三〇五
縣會議員選擧費	七〇・七一〇	六七・九〇〇	二・八一〇
縣吏員費	一、三二三・三二七	一、三二一・〇一八	△ 八・九〇一
財產費	四七〇・五七五	八〇六・五七四	△ 三三五・九九九
公園費	一、〇八〇・四八三	九五九・三九八	一二一・〇八五
統計費	三九九・六二六	四六七・二五〇	△ 六七・六二四
行政執行費	—	三〇・〇〇〇	△ 三〇・〇〇〇
豫備費	—	四、〇〇〇・〇〇〇	△ 四、〇〇〇・〇〇〇
雜出	四三五・六二八	—	四三五・六二八
土地收入審查會費	九・三四〇	—	九・三四〇
合計	三五六、四二一・八八二	三六三、五六八・六五四	△ 七、一四六・七七二
臨時部			
警察費本年度支出額	六、九一八・四八四	六、七二七・五四六	一九〇・九三八
警察廳舍建築費	六五一・六〇五	六五四・六〇二	△ 二・九九七
土木費	一七、一六〇・〇〇六	八三、九七三・〇一五	△ 六六、八一三・〇〇九
土木費本年度支出額	四七・三〇〇	二三、三八一・三〇六	△ 二三、三三四・〇〇六
衛生補助費	八、八四八・三二七	八、二九一・六六七	五五六・六六〇
教育費	四、三五三・四八九	四、三五六・五二九	△ 三・〇四〇
教育費本年度支出額	七、六五四・七四一	七、〇四七・一九一	六〇七・五五〇
教育補助費	三、四六五・〇〇〇	三、五〇〇・〇〇〇	△ 三五・〇〇〇
勸業費	五〇三・九四七	五〇四・〇〇〇	△ 〇・〇五三
勸業費本年度支出額	六、六三六・七八一	五〇〇・〇〇〇	六、一三六・七八一
勸業補助費	七、五〇〇・〇〇〇	七、五〇〇・〇〇〇	—
縣債償還費	四三、一三六・五七〇	四三、一四六・五七〇	△ 一〇・〇〇〇
罹災救助基金積立金	二二、八二六・九六五	二二、八二六・九六五	—
恩給金積立金	五〇〇・〇〇〇	五〇〇・〇〇〇	—
縣廳舍建築費	一、七四三・八〇〇	一、七四三・八一九	△ 〇・〇一九
病院費補充	六六八・〇〇〇	六六八・〇〇〇	—
小學校教員恩給金補充	六一九・一一八	六〇五・七〇三	一三・四一五
合計	[illegible]	[illegible]	[illegible]
總計	[illegible]	[illegible]	[illegible]

罹災救助基金收支

	決算高	豫算高	比較增減
收入	一五〇、二〇九・三一〇	一四〇、八八五・二四九	九、三二四・〇六一
支出	一六八、六五四・四五六	一七〇、八八五・一四九	△ 二、二三〇・六九三

○産業

○特許年限滿了　昨三十九年十二月中特許年限ノ滿了ニ屬セシモノ左ノ如シ（農商務省）

特許番號	發明名稱	原特許登錄ノ日附	特許年限	特許證主氏名
一三七七	土瀝青製漆喰	二四、一二、一	一五	東京府　本間思兵衛
一三七八	絣染器械	二四、一二、一	一五	同　小林藤次郎
一三八三	非常報知機	二四、一二、五	一五	同　田中久重
一三八四	杖	二四、一二、七	一五	大阪府　前田熊太郎
一三八九	腹卷（鎖鼻彈）	二四、一二、一二	一五	東京府　栗原貫造
一三九〇	樞衛	二四、一二、二一	一五	同　守園彥太郎
一三九三	防火桶	二四、一二、二五	一五	同　杉村幹
一三九四	蒲團	二四、一二、二五	一五	同　關口順之助
一三九五	時計盜難豫防具（改良具）	二四、一二、二六	一五	大阪府　三木福輔
一三九六	人形	二四、一二、二六	一五	東京府　落合鐵次郎
一三九七	義齒	二四、一二、二七	一五	同　渡邊良濟
一三九八	靴	二四、一二、二七	一五	同　伊藤國太郎、大澤省三
一三九九	繰絲用口立器	二四、一二、一七	一五	長野縣　千葉貞二郎
一四〇〇	爪掛具	二四、一二、三一	一五	東京府　伴野ヨシ
一四〇一	脚爐（車用）	二四、一二、三一	一五	同　上田政助、大見幸三郎
一四〇二	投入函	二四、一二、三一	一五	同　藤木末乙
一四〇四	竈	二四、一二、三一	一五	宮城縣　岩井長太郎
一四〇六	釣瓶	二四、一二、三一	一五	兵庫縣　伊勢市五郎、河野龜次郎、今市與三松
一四〇八	寫眞器	二四、一二、二六	一五	神奈川縣　水野半兵衛
一四〇九	給樞衛	二四、一二、二六	一五	長崎縣　龜川多一郎
一四一一	運搬車	二四、一二、二六	一五	神奈川縣　松上金重、同　河瀨鐵之進、長野縣　平栗仙十郎、神奈川縣　野田養則
一四一三	桑葉刻	二四、一二、二八	一五	長野縣　宮坂友作
二八一六	穀類挽割機	二九、一二、一五	一〇	栃木縣　荒川恒藏
二八一八	紗綸機	二九、一二、一六	一〇	岡山縣　藤原菊三郎
二八二三	箱	二九、一二、二一	一〇	韓國　中野柳三郎
二八二六	銃	二九、一二、二四	一〇	東京府　大倉米吉

○實用新案登錄　本月四日ヨリ同十日マテニ實用新案ヲ登錄セシモノ左ノ如シ（農商務省）

登錄番號	實用新案名稱	登錄證主氏名
四一四三	自働往復玩具	東京府　横田榮太郎
四一四四	座蒲插入器	神奈川縣　菅沼惣吉
四一四五	衛生褌	大阪府　植田龜太郎
四一四六	海軍釣床帆布	東京府　宮內二朔
四一四七	輕便帽子	大阪府　勝田永太郎
四一四八	萬世止メ「ピン」	東京府　福井アヤノ
四一四九	寶盆	大阪府　吉田虎之助
四一五〇	火爐	同　長谷川三之助
四一五一	「レザー」足袋	同　田島德之助
四一五二	魚釣用龍頭浮	東京府　野呂彥太郎
四一五三	鏡入刺繡地	德島縣　福井岩吉
四一五四	土切リ刀	廣島縣　杉原善一
四一五五	西洋織挽	神奈川縣　オリヴアー、エスケンダル
四一五六	便利箆付塗	愛媛縣　木田豐平
四一五七	鼻緒	福岡縣　三方勘三郎
四一五八	改良束「リボン」	東京府　平野榮造
四一五九	掛物菓子製造釜	大阪府　合資會社朝日製菓
四一六〇	袋口金具	同　富永和三郎
四一六一	「エス、エム」織器	滋賀縣　志村紫次郎
四一六二	新案乾燥標本容器	京都府　林直助
四一六三	「アンチモニー」製玩具音車	大阪府　蒲田榮吉
四一六四	川崎式「チヤアッキー」	同　川崎爲吉
四一六五	井上式烟草盆用防灰器	石川縣　井上信
四一六六	田中式給桑器	長野縣　田中桃太郎、田中芳太郎、下島常治
四一六七	坐蒲團	東京府　久慈喜一
四一六八	捕蛾器	青森縣　秋元卯三郎、松林清作
四一六九	印紙入附「インキ」壺	東京府　露木房之助
四一七〇	戶障子改良車	愛知縣　鈴木具治
四一七一	小山式紙摺機	京都府　小山源太郎
四一七二	同盟縮緬	同　東實識
四一七三	活動枕	三重縣　金谷誠次
四一七四	莫大小鹿子模樣裝掛	東京府　大橋ヨソ
四一七五	雲上縮緬	京都府　田中佐重郎
四一七六	播種器	靜岡縣　松下守次郎、增田クニ
四一七七	眞田蓮織	京都府　杉本米治、岸本清七
四一七八	除草器	山口縣　宮崎市太郎
四一七九	熊野靴	三重縣　小川百藏
四一八〇	「キヤレンダー」「モール」製花形	大阪府　櫻井正太郎
四一八一	燈籠	東京府　北澤佐藏
四一八二	空氣「ランプ、ストーブ」兼用煖爐	同　石川國次郎
四一八三	腕環	大阪府　片岡貫次郎
四一八四	洋燈心金	同　金鐘吉
四一八五	寫眞「ブック」表紙	神奈川縣　千村德松
四一八六	手提金庫	東京府　竹內壽次郎
四一八七	鉛筆削	愛知縣　水野仙次郎
四一八八	片山式裁縫「コート」	大阪府　片山周八
四一八九	片山式裁縫「アッシ」	大阪府　片山周八
四一九〇	蝙蝠傘總	同　吉崎常七、松原武次郎
四一九一	誘蛾燈	奈良縣　大森淺吉
四一九二	團炭	大阪府　松原喜次郎
四一九三	郵便はかき稿本綴	京都府　田中種次郎
四一九四	便利「マント」	福岡縣　中島熊太郎、三枝貫一郎
四一九五	高澤式紙摺器	新潟縣　高澤來平
四一九六	喫烟消毒用煙管	京都府　堀吉兵衛
四一九七	「スヰッチ」	東京府　池上淺吉
四一九八	「シーリング、ブロック」	同　武田俊熊、齋田文太郎
四一九九	鉛筆「コスリ」	同　松木柳次郎
四二〇〇	「コップ」用把手	同　木村新太郎
四二〇一	西洋食器包裝	同　北村重昌
四二〇二	手提袋	同　北村重昌
四二〇三	はがき	同　小林伊之吉

○通運

○內國郵便爲替　內地及在外各局所（臺灣ノ分ヲ除ク）ニ於ケル昨三十九年八月中內國郵便爲替ノ振出總額ハ證書枚數百十三万七千二百枚其金額千二百九十三万七千九百九十一圓六十七錢二厘、爲替料ハ九万八千八百五十四圓十四錢トス其詳細左ノ如シ（△印ハ減）（遞信省）

種別			三十九年八月分	前年同月分	前年同月比較增減	同上割合
證書枚數	有料	通常爲替	三二五、六一二	三五八、八八四	△ 三三、二七二	△ 〇・九三
		電信爲替	六五、〇五三	七〇、七二七	△ 五、六七四	△ 〇・八〇
		小爲替	七〇四、三八五	六七九、二三七	二五、一四八	〇・三七
		合計	一、〇九五、〇五〇	一、一〇八、八四八	△ 一三、七九八	△ 〇・一二
	（無料）	通常爲替	四二、一五〇	九九、四三二	△ 五七、二八二	△ 五・七六
	總計		一、一三七、二〇〇	一、二〇八、二八〇	△ 七一、〇八〇	△ 〇・五九
金額	有料	通常爲替	圓 七、八九六、二八七・九二九	圓 七、八三六、八五八・四〇一	圓 五九、四二九・五二八	割 〇・〇八
		電信爲替	一、五六四、七五七・〇〇〇	一、四三九、八二〇・〇〇〇	一二四、九三七・〇〇〇	〇・八七
		小爲替	一、八四六、七九一・〇四九	一、六九四、四三八・二九三	一五二、三五二・七五六	〇・八九
		合計	一一、三〇七、八三五・九七八	一〇、九七一、一一六・六九四	三三六、七一九・二八四	〇・三一
	（無料）	通常爲替	一、六三〇、一五五・六九四	二、八五九、四五五・八一三	△ 一、二二九、三〇〇・一一九	△ 四・三〇
	總計		一二、九三七、九九一・六七二	一三、八三〇、五七二・五〇七	△ 八九二、五八〇・八三五	△ 〇・六五

第7066号　本文

第7066号 本文

為替料 通常為替	四四、六八二・〇五〇	四〇、四八六・〇七〇	四、一九五・九八〇	一・〇四
為替料 電信為替	二四、七一五・三五〇	二八、二七五・二〇〇	△三、五五九・八五〇	△一・二六
為替料 小為替	二一、四五六・七四〇	二〇、三八三・八五〇	一、〇七二・八九〇	〇・五三
為替料 合計	九〇、八五四・一四〇	八九、一四五・一二〇	一、七〇九・〇二〇	〇・一九
證書一枚平均 有料 通常為替	二四・二五一	二一・八三七	二・四一四	一・一一
證書一枚平均 有料 電信為替	二四・〇五四	二〇・三五七	三・六九七	一・八二
證書一枚平均 有料 小為替	二・六二二	二・四九六	〇・一二六	〇・五〇
證書一枚平均 （無料）通常為替	三八・六七五	二八・七五八	九・九一七	三・四五

○電報通數及料金 內地臺灣及其他ノ各局所ニ於テ昨三十九年四月中取扱ヒタル內外國電報發信通數竝ニ料金左ノ如シ（△印ハ減）（遞信省）

	內地各局所取扱	臺灣局所取扱	樺太局所取扱	韓國局所取扱	滿洲局所取扱	合計
通數 發信 有料	一、六三四、〇四六	三四、八八五	一、四〇四	六八、七八七	三六、七六一	一、七五五、八八一
通數 發信 無料	二〇七、二八二	九、一五五	六〇	一五、五三一	一、三二八	二三三、三五六
通數 發信 總計	一、八四一、三二八	四四、〇四〇	一、四六四	八四、三一八	三八、〇八九	一、九八九、二三七
通數 發信 前年同月分	一、七二四、四四七	四九、二四一	—	四七、一一二		一、八二〇、八〇〇
通數 發信 同上比較增減	一一六、八八一	△五、二〇一	一、四六四	七五、二九五		一六八、四三七
通數 發信 同上割合	割 〇・六八	△一・〇六	一〇・〇〇	一五・九八		〇・九三
通數 中繼信	二、五〇八、四六一	五七、四九七	—	一七九、三三六	一、三五五	二、七四六、六四九
通數 前年同月分	二、三三六、三七三	六二、九九〇	—	七九、二四六		二、四七八、六〇九
通數 同上比較增減	一七二、〇八八	△五、四九三	—	一〇一、四四五		二六八、〇四〇
通數 同上割合	割 〇・七四	△〇・八七	—	一二・八〇		一・〇八
料金	圓 六七三、五六五・八一五	一七、九四七・四六〇	一、〇五九・三四〇	二七、八〇六・三二五	一四、八一九・六四五	七三五、一九八・五八五
前年同月分	七五八、五五六・二〇〇	二三、〇一七・〇四〇	—	二六、八七二・〇四五		八〇八、四四五・二八五
同上比較增減	△八四、九九〇・三八五	△五、〇六九・五八〇	一、〇五九・三四〇	一五、七五三・九二五		△七三、二四六・七〇〇
同上割合	割 △一・一二	△二・二〇	一〇・〇〇	五・八六		△〇・九一

○船燈請賣廢業 船燈請賣人三重縣三重郡富州原村大字橋西十五番屋敷伊藤喜之助ハ今般廢業ノ旨屆出テタリ（遞信省）

○衞生

○「トラホーム」豫防及治療成績報告（一昨十九日ノ續）

同三十四年度「トラホーム」生徒ト教室トノ關係表（第五十三）

男女及學年別	教室番號	第一期學年始患者	第一期全治者	第一期期末患者	第二期發生者	第二期全治者	第二期期末患者	第三期發生者	第三期全治者	第三期期末患者	第四期發生者	第四期全治者	第四期期末患者	第五期發生者	第五期全治者	第五期期末患者	發生者總數	全治者總數	學年末患者
男一	二	四	—	四	—	一	三	二	—	五	—	一	四	一	二	三	七	四	三
男一	三	二	—	二	一	—	三	八	一	一〇	一	九	二	一	—	三	一三	一〇	三
男一	四	六	—	六	—	—	六	七	—	一三	一	一	一三	二	八	七	一六	九	七
女一	五	二八	一	二七	—	一〇	一七	六	—	二三	—	退二 五	一六	—	五	一一	三四	退二 二一	一一
女一	六	二五	—	二五	—	七	一八	四	三	一九	四	八	一五	—	一	一四	三三	一九	一四
男一	七	一一	—	一一	—	一	一〇	三	—	一三	—	一	一二	一	五	八	一五	七	八
男二	九	一七	一	一六	二	一〇	八	—	退二	六	—	四	二	—	—	二	一九	退二 一五	二
男二	十	一三	一	一二	—	四	八	一	—	九	—	四	五	—	三	二	一四	一二	二
男三	十一	一七	一	一六	—	二	一四	六	一	一九	一	一三	七	—	三	四	二四	二〇	四
男三	十二	六	—	六	—	一	五	三	—	八	—	五	三	—	一	二	九	七	二
男三	十三	一五	—	一五	—	一	一四	一	—	一五	—	四	一一	—	六	五	一六	一一	五
男四	十四	一六	三	一三	—	四	九	—	退一 一	七	—	四	三	—	三	—	一六	退一 一五	—
男四	十五	一八	—	一八	—	三	一五	—	退五	一〇	—	退一 五	四	—	一	三	一八	退六 九	三
女四	十六	八	—	八	—	退一 二	五	六	四	七	四	五	六	一	二	五	一九	退一 一三	五
女三	十七	一七	三	一四	—	退一 五	八	—	退一 一	六	一	一	六	一	二	五	一九	退二 一二	五
女二	十八	五	一	四	—	二	二	三	—	五	三	三	五	—	二	三	一一	八	三
女二	十九	一〇	一	九	—	退二 二	五	三	二	六	三	三	六	一	四	三	一七	退二 一二	三
女一	二十	二二	—	二二	—	一一	一一	一	二	一〇	—	二	八	—	一	七	二三	一六	七
女	講堂	二八	四	二四	一	八	一七	—	一	一六	—	五	一一	—	四	七	二九	二二	七
合計	男	一二五	六	一一九	三	二七	九五	三一	退八 三	一一五	三	退一 五一	六六	五	三二	三九	一六七	退九 一一九	三九
合計	女	一四三	一〇	一三三	一	退四 四七	八三	二三	退一 一三	九二	一五	退一 三三	七三	三	二一	五五	一八五	退六 一二四	五五
總計		二六八	一六	二五二	四	退四 七四	一七八	五四	退九 一六	二〇七	一八	退二 八四	一三九	八	五三	九四	三五二	退一五 二四三	九四

同三十五年度同上（第五十四）

男女及學年別	教室番號	第一期學年始患者	第一期全治者	第一期期末患者	第二期發生者	第二期全治者	第二期期末患者	第三期發生者	第三期全治者	第三期期末患者	第四期發生者	第四期全治者	第四期期末患者	第五期發生者	第五期全治者	第五期期末患者	發生者總數	全治者總數	學年末患者
男二	二	一〇	二	八	—	—	八	三	—	一一	—	六	五	—	二	三	一三	一〇	三
男一	三	一三	三	一〇	—	二	八	—	退一	七	—	一	六	—	二	四	一三	退一 八	四
男一	四	一三	三	一〇	—	一	九	三	—	一二	—	四	八	—	一	七	一六	九	七
女一	五	一二	—	一二	—	三	九	二	一	一〇	—	一	九	—	—	九	一四	五	九
女一	六	一〇	—	一〇	—	二	八	—	—	八	—	退二 二	四	—	—	四	一〇	退二 四	四
男一	七	九	—	九	—	一	八	四	—	一二	—	五	七	—	—	七	一三	六	七
男二	九	一三	六	七	—	五	二	二	—	四	—	—	四	—	一	三	一五	一二	三
男二	十	一五	—	一五	—	四	一一	—	退三 一	七	四	六	五	二	四	三	二一	退三 一五	三
男三	十一	三	—	三	—	—	三	—	退二 一	—	—	—	—	—	—	—	三	退二 一	—
男三	十二	二	—	二	—	—	二	三	—	五	—	四	一	—	—	一	五	四	一
男四	十三	二	—	二	—	—	二	—	—	二	—	一	一	—	—	一	二	一	一
男四	十四	六	一	五	—	—	五	一	一	五	—	一	四	—	—	四	七	三	四
男四	十五	一	—	一	—	—	一	二	—	三	—	一	二	—	—	二	三	一	二
女四	十六	二	—	二	—	—	二	—	—	二	—	—	二	—	—	二	二	—	二
女三	十七	一一	一	一〇	—	一	九	—	退一	八	一	四	五	—	—	五	一二	退一 六	五
女二	十八	一二	—	一二	—	一	一一	—	一	一〇	—	四	六	—	二	四	一二	八	四
女二	十九	一九	—	一九	—	一	一八	—	退七 一	一〇	—	三	七	一	二	六	二〇	退七 七	六
女一	二十	六	—	六	—	—	六	—	—	六	—	—	六	—	—	六	六	—	六
女	講堂	九	一	八	—	—	八	—	退二	六	—	二	四	—	—	四	九	退二 三	四
合計	男	八七	一五	七二	—	一三	五九	一八	退六 五	六六	四	二八	四二	二	九	三五	一一一	退六 七〇	三五
合計	女	八一	二	七九	—	八	七一	二	退一三 三	五七	二	一六	四三	一	四	四〇	八六	退一三 三三	四〇
總計		一六八	一七	一五一	—	二一	一三〇	二〇	退一九 八	一二三	六	四四	八五	三	一三	七五	一九七	退一九 一〇三	七五

同三十六年度同上（第五十五）

男女及學年別	教室番號	第一期學年始患者	第一期全治者	第一期期末患者	第二期發生者	第二期全治者	第二期期末患者	第三期發生者	第三期全治者	第三期期末患者	第四期發生者	第四期全治者	第四期期末患者	第五期發生者	第五期全治者	第五期期末患者	發生者總數	全治者總數	學年末患者
男一	二	三	一	二	—	一	一	二	一	二	—	—	二	—	—	二	五	三	二
男二	三	六	三	三	一	—	四	—	退三 一	—	—	—	—	—	—	—	七	退三 四	—
女一	四	五	—	五	—	三	二	二	—	四	—	一	三	一	—	四	八	四	四
女一	五	三	一	二	—	二	—	三	一	二	—	一	一	—	一	—	六	六	—
女一	六	二	—	二	—	—	二	—	—	二	—	—	二	—	—	二	二	—	二
男一	七	七	三	四	—	退一 二	一	五	二	四	—	一	三	—	—	三	一二	退一 八	三
男二	九	一	—	一	—	一	—	三	—	三	—	二	一	—	—	一	四	三	一
男二	十	五	四	一	—	—	一	一	二	—	—	—	—	—	—	—	六	六	—
男三	十一	二	—	二	—	一	一	二	一	二	—	—	二	—	—	二	四	二	二
男三	十二	二	—	二	—	一	一	四	四	一	—	—	一	—	—	一	六	五	一
男三	十三	七	二	五	一	五	一	—	退一	—	—	—	—	—	—	—	八	退一 七	—
男四	十四	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
男四	十五	三	一	二	—	—	二	—	一	一	—	—	一	—	—	一	三	二	一
女四	十六	四	一	三	—	—	三	—	退二	一	—	—	一	—	—	一	四	退二 一	一
女三	十七	五	一	四	—	三	一	—	退一	—	—	—	—	—	—	—	五	退一 四	—
女三	十八	七	—	七	—	二	五	—	退一 二	二	—	一	一	—	—	一	七	退一 五	一
女二	十九	六	二	四	—	一	三	四	一	六	—	三	三	一	—	四	一一	七	四
女二	二十	三	一	二	—	—	二	二	二	二	—	一	一	—	一	—	五	五	—
女	講堂	六	一	五	一	二	四	—	退二	二	—	—	二	—	—	二	七	退二 三	二
合計	男	三六	一四	二二	二	退一 一一	一二	一七	退四 一二	一三	—	三	一〇	—	—	一〇	五五	退五 四〇	一〇
合計	女	四一	七	三四	一	一三	二二	一一	退六 六	二一	—	七	一四	二	二	一四	五五	退六 三五	一四
總計		七七	二一	五六	三	退一 二四	三四	二八	退一〇 一八	三四	—	一〇	二四	二	二	二四	一一〇	退一一 七五	二四

同三十七年度同上（第五十六）

男女及學年別	教室番號	第一期學年始患者	第一期全治者	第一期期末患者	第二期發生者	第二期全治者	第二期期末患者	第三期發生者	第三期全治者	第三期期末患者	第四期發生者	第四期全治者	第四期期末患者	第五期發生者	第五期全治者	第五期期末患者	發生者總數	全治者總數	學年末患者
男一	二	四	—	四	—	—	四	一〇	七	七	—	退一 四	二	—	—	二	一四	退一 一一	二
女一	三	九	三	六	一	—	七	三	五	五	一	二	四	—	一	三	一四	一一	三
女一	四	八	一	七	—	二	五	四	四	五	—	一	四	—	—	四	一二	八	四
女二	五	六	一	五	—	一	四	一〇	七	七	二	三	六	四	一	九	二二	一三	九
女二	六	三	二	一	—	—	一	一一	八	四	—	二	二	一	一	二	一五	一三	二
男一	七	三	—	三	—	—	三	八	五	六	—	一	五	—	—	五	一一	六	五
男二	九	一	—	一	—	—	一	一一	七	五	—	退一 三	一	一	—	二	一三	退一 一〇	二
男二	十	七	一	六	—	退三 一	二	一〇	七	五	—	二	三	—	—	三	一七	退三 一一	三
男三	十一	三	—	三	—	—	三	一七	一二	八	二	五	五	—	—	五	二二	一七	五
男三	十二	二	—	二	—	—	二	一二	五	九	—	三	六	—	—	六	一四	八	六
男三	十三	五	—	五	—	退一 一	三	七	七	三	—	二	一	—	—	一	一二	退一 一〇	一
男四	十四	二	—	二	一	一	二	一〇	一一	一	—	—	一	—	一	—	一三	一三	—
男四	十五	三	—	三	—	一	二	八	五	五	三	二	六	—	一	五	一四	九	五
女四	十六	九	四	五	—	退二 一	二	四	二	四	—	一	三	—	一	二	一三	退二 九	二
女四	十七	—	—	—	二	一	一	五	四	二	—	一	一	—	—	一	七	六	一
女三	十八	二	—	二	—	—	二	三	二	三	—	一	二	—	—	二	五	三	二
女三	十九	三	一	二	—	—	二	五	四	三	—	一	二	—	—	二	八	六	二
女二	二十	四	一	三	—	—	三	七	七	三	—	—	三	一	二	二	一二	一〇	二
女	講堂	五	—	五	—	—	五	五	五	五	—	退一 一	三	—	—	三	一〇	退一 六	三
合計	男	三〇	一	二九	一	退四 四	二二	九三	六六	四九	五	退二 二二	三〇	一	二	二九	一三〇	退六 九五	二九
合計	女	四九	一三	三六	三	退二 五	三二	五七	四八	四一	三	退一 一三	三〇	六	六	三〇	一一八	退三 八五	三〇
總計		七九	一四	六五	四	退六 九	五四	一五〇	一一四	九〇	八	退三 三五	六〇	七	八	五九	二四八	退九 一八〇	五九

自明治三十四年度至同三十七年度四箇年間同上（第五十七）

男女別	教室番號	第一期學年始患者	第一期全治者	第一期期末患者	第二期發生者	第二期全治者	第二期期末患者	第三期發生者	第三期全治者	第三期期末患者	第四期發生者	第四期全治者	第四期期末患者	第五期發生者	第五期全治者	第五期期末患者	發生者總數	全治者總數	學年末患者
男	二	二一	三	一八	—	二	一六	一七	八	二五	—	一二	一三	一	四	一〇	三九	二九	一〇
男	三	二一	六	一五	二	二	一五	八	六	一七	一	一〇	八	一	二	七	三三	二六	七
女	三	九	三	六	一	—	七	三	五	五	一	二	四	—	一	三	一四	一一	三
男	四	一九	三	一六	—	一	一五	一〇	—	二五	一	五	二一	二	九	一四	三二	一八	一四
女	四	一三	一	一二	—	五	七	六	四	九	—	二	七	一	—	八	二〇	一二	八
女	五	四九	三	四六	—	一六	三〇	二一	九	四二	二	一二	三二	四	七	二九	七六	四七	二九
女	六	四〇	二	三八	—	九	二九	一五	一一	三三	四	一四	二三	一	二	二二	六〇	三八	二二
男	七	三〇	三	二七	—	五	二二	二〇	七	三五	—	八	二七	一	五	二三	五一	二八	二三
男	九	三二	七	二五	二	一六	一一	一六	九	一八	—	一〇	八	一	一	八	五一	四三	八
男	十	四〇	六	三四	—	一二	二二	一二	一三	二一	四	一二	一三	二	七	八	五八	五〇	八
男	十一	二五	一	二四	—	三	二一	二五	一七	二九	三	一八	一四	—	三	一一	五三	四二	一一
男	十二	一二	—	一二	—	二	一〇	二二	九	二三	—	一二	一一	—	一	一〇	三四	二四	一〇
男	十三	二九	二	二七	一	八	二〇	八	八	二〇	—	七	一三	—	六	七	三八	三一	七
男	十四	二四	四	二〇	一	五	一六	一一	一四	一三	—	五	八	—	四	四	三六	三二	四
男	十五	二五	一	二四	—	四	二〇	一〇	一一	一九	三	九	一三	—	二	一一	三八	二七	一一
女	十六	二三	五	一八	—	六	一二	一〇	八	一四	四	六	一二	一	三	一〇	三八	二八	一〇
女	十七	三三	五	二八	二	一一	一九	五	八	一六	二	六	一二	一	二	一一	四三	三二	一一
女	十八	二六	一	二五	—	五	二〇	六	六	二〇	三	九	一四	—	四	一〇	三五	二五	一〇
女	十九	三八	四	三四	—	六	二八	一二	一五	二五	三	一〇	一八	三	六	一五	五六	四一	一五
女	二十	三五	二	三三	—	一一	二二	一〇	一一	二一	—	三	一八	一	四	一五	四六	三一	一五
女	講堂	四八	六	四二	二	一〇	三四	五	一〇	二九	—	九	二〇	—	四	一六	五五	三九	一六
合計	男	二七八	三六	二四二	六	六〇	一八八	一五九	一〇四	二四三	一二	一〇七	一四八	八	四三	一一三	四六三	三五〇	一一三
合計	女	三一四	三二	二八二	五	七九	二〇八	九三	九〇	二一一	二〇	七一	一六〇	一二	三三	一三九	四四四	三〇五	一三九
總計		五九二	六八	五二四	一一	一三九	三九六	二五二	一九四	四五四	三二	一七八	三〇八	二〇	七六	二五二	九〇七	六五五	二五二

自明治三十四年度至同三十七年度四箇年間卒業生徒中「トラホーム」患者男女別表（第五十八）

卒業期及治療年間	男生徒在籍數	男生徒患者數	男生徒百中歩合	女生徒在籍數	女生徒患者數	女生徒百中歩合	合計在籍數	合計患者數	合計百中歩合
三十四年卒業（一箇年治療）	八五	三	三・五三	五二	五	九・六一	一三七	八	五・八四
三十五年同（二箇年同）	一〇〇	七	七・〇〇	三七	二	五・四一	一三七	九	六・五七
三十六年同（三箇年同）	六六	一	一・五二	五七	一	一・七五	一二三	二	一・六三
三十七年同（四箇年同）	八七	五	五・七五	七九	三	三・八〇	一六六	八	四・八二
合計	三三八	一六	四・七三	二二五	一一	四・八九	五六三	二七	四・八〇
平均	八五	四	四・七一	五六	三	五・三六	一四一	七	四・九六

同三十四年四月入學「トラホーム」生徒出身學校男女別表（第五十九）

出身校	男生徒 入學生徒	男生徒 患者數	男生徒 百中步合	女生徒 入學生徒	女生徒 患者數	女生徒 百中步合	合計 入學生徒	合計 患者數	合計 百中步合
浪華	二四	一	四・一七	二三	一〇	四三・四七	四七	一一	二三・四〇
久寶	一二	一	八・三三	一八	七	三八・八九	三〇	八	二六・六七
汎愛	二二	二	九・〇九	二三	六	二六・〇九	四五	八	一七・七八
船場	二	—	—	二	二	一〇〇・〇〇	四	二	五〇・〇〇
南大江	四九	五	一〇・二〇	三七	一四	三七・八四	八六	一九	二二・〇九
集英	一七	—	—	三二	九	二八・一二	四九	九	一八・三七
愛日	—	—	—	一	—	—	一	—	—
蘆池	—	—	—	四	一	二五・〇〇	四	一	二五・〇〇
渥美	—	—	—	一	—	—	一	—	—
玉造	—	—	—	一	—	—	一	—	—
西區	一	—	—	一	—	—	二	—	—
中大江	一	—	—	—	—	—	一	—	—
區外	三	—	—	—	—	—	三	—	—
合計	一三一	九	六・八七	一四三	四九	三四・二七	二七四	五八	二一・一七

同三十五年同上（第六十）

出身校	男生徒 入學生徒	男生徒 患者數	男生徒 百中步合	女生徒 入學生徒	女生徒 患者數	女生徒 百中步合	合計 入學生徒	合計 患者數	合計 百中步合
浪華	三六	四	一一・一一	二一	—	—	五七	四	七・〇二
久寶	二一	—	—	三一	一	三・二三	五二	一	一・九二
汎愛	二〇	二	一〇・〇〇	二六	二	七・六九	四六	四	八・七〇
船場	一	—	—	一	—	—	二	—	—
南大江	八九	一五	一六・八五	六一	一一	一八・〇三	一五〇	二六	一七・三三
集英	一	—	—	—	—	—	一	—	—
愛日	一	—	—	—	—	—	一	—	—
蘆池	—	—	—	三	一	三三・三三	三	一	三三・三三
渥美	三	—	—	一	—	—	四	—	—
玉造	—	—	—	一	—	—	一	—	—
中大江	三	—	—	二	—	—	五	—	—
西區	一	—	—	—	—	—	一	—	—
北區	一	一	一〇〇・〇〇	一	—	—	二	一	五〇・〇〇
南區	—	—	—	二	—	—	二	—	—
區外	二	一	五〇・〇〇	二	一	五〇・〇〇	四	二	五〇・〇〇
合計	一七九	二三	一二・八五	一五二	一六	一〇・五三	三三一	三九	一一・七八

同三十六年同上（第六十一）

出身校	男生徒 入學生徒	男生徒 患者數	男生徒 百中步合	女生徒 入學生徒	女生徒 患者數	女生徒 百中步合	合計 入學生徒	合計 患者數	合計 百中步合
浪華	三五	一	二・八六	三六	一	二・七八	七一	二	二・八二
久寶	五五	三	五・四五	四七	三	六・三八	一〇二	六	五・八八
汎愛	三七	二	五・四一	二八	一	三・五七	六五	三	四・六一
船場	二	—	—	一	—	—	三	—	—
南大江	三	—	—	五四	三	五・五六	五七	三	五・二六
集英	一	—	—	二	—	—	三	—	—
愛日	—	—	—	—	—	—	—	—	—
蘆池	二	—	—	三	—	—	五	—	—
渥美	二	—	—	二	—	—	四	—	—
玉造	一	—	—	二	—	—	三	—	—
中大江	四	—	—	五	—	—	九	—	—
北大江	—	—	—	一	—	—	一	—	—
西區	—	—	—	—	—	—	—	—	—
北區	—	—	—	—	—	—	—	—	—
南區	—	—	—	—	—	—	—	—	—
區外	一	—	—	三	—	—	四	—	—
合計	一四四	六	四・一六	一八九	九	四・七六	三三三	一五	四・五〇

同三十七年同上（第六十二）

出身校	男生徒 入學生徒	男生徒 患者數	男生徒 百中步合	女生徒 入學生徒	女生徒 患者數	女生徒 百中步合	合計 入學生徒	合計 患者數	合計 百中步合
浪華	三二	一	三・一三	三七	五	一三・五一	六九	六	八・六九
久寶	二八	三	一〇・七一	五〇	四	八・〇〇	七八	七	八・九七
汎愛	二九	三	一〇・三四	三七	三	八・一一	六六	六	九・〇九
船場	一	—	—	二	二	一〇〇・〇〇	三	二	六六・六七
南大江	一	—	—	四	—	—	五	—	—
集英	—	—	—	—	—	—	—	—	—
愛日	一	—	—	—	—	—	一	—	—
蘆池	二	—	—	二	—	—	四	—	—
渥美	三	—	—	二	—	—	五	—	—
玉造	—	—	—	—	—	—	—	—	—
中大江	一	—	—	—	—	—	一	—	—
北大江	—	—	—	—	—	—	—	—	—
西區	二	—	—	—	—	—	二	—	—
北區	—	—	—	—	—	—	—	—	—
南區	一	—	—	—	—	—	一	—	—
區外	三	—	—	二	—	—	五	—	—
合計	一〇四	七	六・七三	一三六	一四	一〇・二九	二四〇	二一	八・七五

自明治三十四年度至同三十七年度四箇年間同上（第六十三）

出身校	男生徒 入學生徒	男生徒 患者數	男生徒 百中步合	女生徒 入學生徒	女生徒 患者數	女生徒 百中步合	合計 入學生徒	合計 患者數	合計 百中步合
浪華	一二七	七	五・五一	一一七	一六	一三・六七	二四四	二三	九・四三
久寶	一一六	七	六・〇三	一四六	一五	一〇・二七	二六二	二二	八・四〇
汎愛	一〇八	九	八・三三	一一四	一二	一〇・五三	二二二	二一	九・四六
船場	六	—	—	六	四	六六・六七	一二	四	三三・三三
南大江	一四二	二〇	一四・〇八	一五六	二八	一七・九四	二九八	四八	一六・一一
集英	一九	—	—	三四	九	二六・四七	五三	九	一六・九八
愛日	二	—	—	一	—	—	三	—	—
蘆池	四	—	—	一二	二	一六・六六	一六	二	一二・五〇
渥美	八	—	—	六	—	—	一四	—	—
玉造	一	—	—	四	—	—	五	—	—
中大江	九	—	—	七	—	—	一六	—	—
北大江	—	—	—	一	—	—	一	—	—
西區	四	—	—	一	—	—	五	—	—
北區	一	一	一〇〇・〇〇	一	—	—	二	一	五〇・〇〇
南區	二	—	—	七	一	一四・二九	九	一	一一・一一
區外	九	一	一一・一一	七	一	一四・二九	一六	二	一二・五〇
合計	五五九	四五	八・〇五	六二〇	八八	一四・一九	一、一七九	一三三	一一・二八

東區公立各小學校「トラホーム」生徒取調表（第六十四）

校名	男生徒在籍數	同上患者數	百分比例	女生徒在籍數	同上患者數	百分比例	在籍計	患者計	百分比例
第一高等	六一七	三二	五	五一四	三〇	六	一、一三一	六二	五
第二高等	六一三	七一	一二	三五二	四八	一四	九六五	一一九	一二
第三高等	四四一	三四	八	三七一	二一	六	八一二	五五	七

出身校	男生徒 入學生徒	男生徒 患者數	男生徒 百中步合	女生徒 入學生徒	女生徒 患者數	女生徒 百中步合	合計 入學生徒	合計 患者數	合計 百中步合
南大江×	五八四	七三	一三	五九〇	六四	一一	一、一七四	一三七	一二
中大江	五二九	一四六	二八	四六七	一二〇	二六	九九六	二六六	二七
北大江	二四九	一九	八	二四九	二五	一〇	四九八	四四	九
集英×	一六一	一一	七	一四四	四	三	三〇五	一五	五
汎愛×	一四五	二〇	一四	一九〇	三八	二〇	三三五	五八	一七
浪華	二三三	五〇	二一	二一〇	三九	一九	四四三	八九	二〇
久寶	二三六	四二	一八	二三三	四三	一八	四六九	八五	一八
船場	二六一	二一	八	二五一	二五	一〇	五一二	四六	九
愛日	二五九	一四	五	二五三	一六	六	五一二	三〇	六
玉造高等	一八一	[illegible]	三九	一二二	四二	三四	三〇三	一一二	三七
同尋常	四二〇	一五四	三七	三八六	一一八	三一	八〇六	二七二	三四
清堀	三五八	一九〇	五三	二九五	一〇〇	三四	六五三	二九〇	四四
東平高等×	一九三	二七	一四	一一六	二五	二二	三〇九	五二	一七
同尋常×	三五九	六九	一九	四四〇	七一	一六	七九九	一四〇	一八
合計	五、八二九	一、〇四三	一八	五、一九三	八二九	一六	一一、〇二二	一、八七二	一七

（備考）明治三十六年四月體格檢査表ニ依ルヘ×印アルモノハ「トラホーム」ノ區別ナキカタメ眼疾トアリシ其數ヲ記入セリ

（完）

○雜事

○移民業務代理許可　山陽移民合資會社業務擔當社員麻生榮ヨリ沖繩縣平民當銘神吉ヲシテ又大陸殖民合資會社業務擔當社員荒藤次郎ヨリ宮城縣平民櫻井庄之進及福井縣平民水江金藏ヲシテ孰モ內地ニ於テ業務代理ヲ爲サシムルノ件出願セシニ依リ本月十六日許可セリ（外務省）

○移民取扱出張所移轉　熊本移民合資會社ヨリ熊本縣熊本市南新坪井町九十五番地出張所ヲ同縣同市南千反畑町二十五番地ヘ移轉セシ旨本月九日附ヲ以テ屆出テタリ（外務省）

○帝國議會

○貴族院

○議案提出　一昨十九日政府ヨリ左ノ議案ヲ提出セリ

明治二十九年法律第十三號中改正法律案

在外指定學校職員退隱料及遺族扶助料法中改正法律案

郵便法中改正法律案

○書類配付　一昨十九日左ノ書類ヲ各議員ニ配付セリ

議事日程第二號

明治二十九年法律第十三號中改正法律案

在外指定學校職員退隱料及遺族扶助料法中改正法律案

郵便法中改正法律案

以上特送

○衆議院

○議員席次變更　本月十七日議長ニ於テ席次ヲ左ノ如ク變更セリ

第百番　淺野陽吉	第二百九十八番　安達謙藏	第三百二十七番　關根柳介
第百十六番　菊池武德	第三百十四番　小田貫一	第三百四十四番　松元剛吉
第二百七十三番　丹尾頼馬	第三百十五番　辻寬	第三百四十五番　谷澤龍藏
第二百八十七番　横堀三子	第三百二十五番　宮部襄	第三百五十四番　藻寄鐵五郎
第二百八十九番　大戸復三郎	第三百二十六番　河上英	第三百六十二番　米田穣八郎

○議案提出　一昨十九日政府ヨリ左ノ議案ヲ提出セリ

事業公債條例中改正法律案

北海道地方費法中改正法律案

官廳ニ於テ印刷局製造ノ物件買入ニ關スル法律案

千住製絨所据置運轉資本增加ニ關スル法律案

帝國大學特別會計法案

學校及圖書館特別會計法案

韓國森林特別會計法案

韓國鐵道ノ收益勘定缺損補充ニ關スル法律案

○議事日程　今二十一日ノ議事日程左ノ如シ

議事日程　第一號　明治四十年一月二十一日（月曜日）

午後一時開議

第一　全院委員長ノ選擧

第二　常任委員ノ選擧

○地方行政

○市會議長等當選　大阪府大阪市ニ於テ本月十一日市會議長及同代理者ノ選擧ヲ行ヒシニ議長ニ日野國明、同代理者ニ中谷德恭當選セリ（大阪府）

○觀象

○全國氣象　一月十七日

區	測候所	氣壓 午前六時	氣壓 八時間差	溫度 午前六時	溫度 最高	溫度 最低	風 風向	風 風力	雨量 廿四時間	天氣
一	恆春	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
一	臺東	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
一	臺南	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
一	澎湖島	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
一	臺中	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
一	臺北	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
一	石垣島	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
一	那覇	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
一	大島	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二	佐多岬	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二	鹿兒島	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二	宮崎	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二	熊本	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二	足摺	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二	高知	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二	德島	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二	和歌山	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二	日御碕	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二	潮岬	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三	大分	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三	松山	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三	多度津	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三	廣島	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三	呉	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三	岡山	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三	神戸	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三	大阪	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三	京都	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三	八木	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
四	大瀬崎	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
四	長崎	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
四	佐世保	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
四	佐賀	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
四	福岡	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
四	嚴原	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
四	下關	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
四	濱田	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
四	西郷	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
四	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
五	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
五	名古屋	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
五	濱松	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
五	沼津	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
五	横濱	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
五	東京	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
五	熊谷	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
五	布良	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
五	銚子	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
五	八丈島	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
六	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
六	長野	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
六	甲府	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
六	前橋	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
六	足尾	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
六	中禪寺	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
六	福島	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

第7066号 本文

區	觀測所								天氣
七	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
八	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
九	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
一〇	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
韓國	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
清國	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

○天氣概況　昨日清國揚子江ノ上流ニ發生セシ低氣壓ハ北東ニ進行シ來リ今朝黃海中部ニ存在スルモノヽ如シ又昨夜臺灣ノ中部ニ在リシ低氣壓ハ北東ニ進行シ東海ノ中央ニ存在セリ而シテ高氣壓ハ濠洲ヨリ「オコック」海ニ擴張ス又北海道ノ中部ニモ一高氣壓ノ獨立シテ存スルモノアリ本邦東海岸及南東海岸ニ於テハ北東ノ風強シト雖モ其他ノ地方ニテハ概シテ靜穩ナリ日本海岸ノ中部ハ概シテ曇天ナレトモ其他ノ地方ニテハ天氣晴朗ニシテ一點ノ雲ヲ見サル所多シ氣溫ハ上川ノ氷點下二十七度ヨリ石垣島ノ十八度ノ間ニ在リ

○全國天氣豫報

一月二十一日天氣豫報

第一區　北ノ風、概ネ曇
第二區　北又ハ東ノ風、概ネ曇但シ雨又ハ雪模樣アリ
第三區　第二區ニ同シ
第四區　第二區ニ同シ
第五區　第二區ニ同シ
第六區　第二區ニ同シ
第七區　第二區ニ同シ
第八區　第二區ニ同シ
第九區　南又ハ東ノ風、概ネ曇但シ雪模樣アリ
第十區　第九區ニ同シ

○東京地方天氣豫報

一月二十日午前九時發　北ノ風、曇但シ少雨
一月二十日午後四時發　北ノ風、雨

○暴風警報　一月十九日午前八時五十五分五、八ノ一區ノ海陸及七、八ノ二區ノ沿海ノ警戒ヲ解キ海上風雨ノ虞アリ同二十日午後四時五分一乃至五、七、八區ノ沿海ヲ警戒ス

○地震　八木外七箇所ノ地震報告左ノ如シ

八木	一月十八日	午前零時二十分二十五秒	微　性質緩
臺東	同	午前二時五十九分九秒	同（感覺ナシ）
多度津	同	午後八時二十三分十七秒	弱（震度弱キ方）性質急上下動アリ
和歌山	同	午後八時二十三分十二秒	微　性質急地鳴アリ
大阪	同	午後八時二十三分三十九秒	同　性質緩
彥根	同	午後八時二十四分三十二秒	同　性質緩
神戸	同	午後八時二十三分四十秒	同（感覺ナシ）
岡山	同	午後八時二十五分二十八秒	同　地鳴アリ
和歌山	十九日	午前五時零分十六秒	同

（以上中央氣象臺）

○廣告

○醫籍登錄

醫師法第四條ニ依リ醫籍ニ登錄シタル者左ノ如シ

登錄年月日	登錄番號	族籍	氏名
東京帝國大學醫科大學醫學科卒業者			
三九、一二、一五	二、四〇七	岐阜縣平民	今井金三郎
同	二、四〇八	千葉縣平民	吉田昌治
同　六	二、四二三	香川縣平民	高橋淺太郎
同　七	二、四二四	愛媛縣士族	高橋道賢
同　一〇	二、四三五	長野縣平民	有賀峰次郎
同　一一	二、四四一	宮城縣士族	山崎緒一
同　一三	二、四六九	岡山縣平民	高杉新一郎
同	二、五五七	福岡縣平民	井上成美
同　二五	二、五五八	千葉縣士族	佐藤信太郎
同	二、五五九	東京府平民	大平直治
同	二、五六〇	東京府平民	櫻田十次郎
同	二、五八五	岐阜縣平民	青木龍雄
同　二七	二、五八六	東京府士族	丹羽緒香
京都帝國大學京都醫科大學醫學科卒業者			
同　五	二、四〇四	岐阜縣平民	江馬春齊
同	二、四〇五	京都府平民	山田正太郎
同	二、四〇六	京都府士族	磯清一
同　六	二、四〇九	岡山縣平民	尾崎元實
同　八	二、四二五	岐阜縣平民	渡邊喜三
同　一三	二、四四三	香川縣平民	槇塚文五郎
同	二、四四四	京都府平民	淺山忠愛
同	二、四四五	奈良縣平民	山岡三良
同　一七	二、四九〇	大阪府平民	大槻懋
同　一八	二、五〇四	和歌山縣士族	月山義之助
同　二三	二、五二一	宮城縣士族	横山有五
同　二四	二、五三四	新潟縣平民	佐藤剛藏
同	二、五三五	廣島縣平民	森元良雄
同	二、五三六	兵庫縣平民	植杉郁太郎
同　二五	二、五五一	和歌山縣平民	稻木鶴五郎
同	二、五五二	新潟縣士族	菅沼定男
同	二、五五三	東京府平民	大谷彬亮
同	二、五五四	富山縣平民	得能孝平
同	二、五五五	新潟縣平民	山本正勝
同	二、五五六	大阪府平民	長谷川房英
同　二七	二、五八七	新潟縣平民	上野道故
同	二、五八八	滋賀縣士族	大久保直穆
千葉醫學專門學校醫學科卒業者			
同　一	二、三七八	福島縣平民	鈴木忠義
同	二、三七九	群馬縣平民	高野貞雄
同	二、三八〇	長野縣平民	井上徹八
同　五	二、三九七	埼玉縣平民	清水源八
同　六	二、四一六	兵庫縣平民	松尾信夫
同	二、四一七	山形縣平民	槇吉治
同　八	二、四二八	山梨縣平民	辻貫造
同	二、四二九	兵庫縣平民	岡本潛藏
同　三	二、四六二	福岡縣平民	鹿兒島茂
同	二、四六三	愛知縣平民	村瀨英二
同　一三	二、四七三	神奈川縣平民	皆川弘毅
同	二、四七四	千葉縣平民	岡猛
同	二、四七五	新潟縣平民	阿部龜藏
同	二、四七六	靜岡縣平民	八木亨
同　一四	二、四七七	新潟縣平民	須田義彰
同　一七	二、四九一	滋賀縣平民	開田綜造
同	二、四九二	埼玉縣平民	石井清
同　一八	二、五〇五	長野縣平民	小平定太
同	二、五〇六	千葉縣平民	恩田明
同	二、五〇七	山梨縣平民	渡邊文平
同　二〇	二、五一九	長野縣平民	清水治夫
同　二四	二、五四六	山口縣士族	宮原成太
同	二、五四七	靜岡縣平民	神谷補治
同	二、五四八	新潟縣平民	橋本寅造
同	二、五四九	新潟縣平民	井利膳
同	二、五五〇	埼玉縣平民	高山眞七
同　二五	二、五七一	愛知縣平民	田澤秋作
同	二、五七二	京都府士族	勢家直幹
同	二、五七三	山形縣平民	中川幸藏
同	二、五七四	栃木縣平民	柳田昌雄
同	二、五七五	茨城縣平民	植田景三
同	二、五七六	茨城縣平民	新橋保
同	二、五七七	茨城縣平民	飯島恒次郎
同　二七	二、五九五	愛知縣平民	大林珍平
同	二、五九六	千葉縣平民	德山孝七
同	二、五九七	千葉縣平民	高橋半十郎
仙臺醫學專門學校醫學科卒業者			
同　四	二、三八四	三重縣士族	藤田秀一
同	二、三八五	宮城縣平民	菅原傳治
同	二、三八六	長野縣士族	千野壯造
同　五	二、三九九	福島縣平民	會田常次
同	二、四〇〇	群馬縣平民	金井好平
同　八	二、四二六	山形縣平民	齋藤正五郎
同	二、四二七	山形縣平民	松田幸一
同　三	二、四五九	茨城縣士族	川合信雄
同	二、四六〇	山形縣士族	平井昇一
同	二、四六一	福島縣平民	菊池恭三
同	二、四九六	青森縣平民	田澤榮
同	二、四九七	埼玉縣平民	中神卷太郎
同	二、五〇二	巖手縣平民	石橋賢齊
同	二、五六一	巖手縣平民	阿部益之助
同	二、五六二	巖手縣平民	阿部愼吾
同	二、五九一	福島縣士族	前田宗助
同	二、五九二	長野縣平民	新津左門
同	二、五九三	宮城縣平民	熊谷鐵尾
同	二、五九四	宮城縣平民	佐藤[illegible]
岡山醫學專門學校醫學科卒業者			
同　一	二、三七五	長野縣平民	上條晉太郎
同	二、三七六	山口縣平民	茶川一
同　四	二、三八二	鹿兒島縣士族	兒玉利秀
同	二、三八三	愛知縣士族	藤濱剛一
同　五	二、三九一	三重縣平民	藤田覺三
同　六	二、四一三	香川縣平民	篠原雅吉
同	二、四一四	廣島縣平民	福永豐綱
同	二、四一五	廣島縣平民	澄谷浦輔
同　三	二、四四六	香川縣平民	伊賀龜三郎
同	二、四四七	香川縣平民	白井正象
同	二、四四八	山口縣士族	多記章輔
同	二、四四九	岡山縣士族	林榮太郎
同	二、四五〇	新潟縣平民	大野賢三

登錄年月日	登錄番號	族籍	氏名
同　一七	二、四九九	三重縣平民	三村英正
同　一八	二、五〇〇	香川縣平民	渡邊一太
同	二、五〇一	高知縣平民	渡邊八重馬
同　二四	二、五四一	山口縣士族	三浦五一
同	二、五四二	大阪府平民	小林久治
同	二、五四三	德島縣平民	井內芳三
同	二、五四四	大阪府平民	竹腰馨
同	二、五四五	德島縣平民	武岡遂次
同　二五	二、五六九	山口縣士族	岩本哲朗
同	二、五七〇	山口縣平民	來栖昌一
金澤醫學專門學校醫學科卒業者			
同　四	二、三八七	福井縣士族	吉村一馬
同	二、三八八	新潟縣平民	秋山八百藏
同	二、三八九	愛知縣平民	津田信吉
同　六	二、四一〇	大阪府平民	澤田辰造
同	二、四一一	埼玉縣平民	宮川濟
同	二、四一二	福井縣士族	青山寛之
同　一〇	二、四三六	岡山縣平民	小高[illegible]四郎
同　一三	二、四五一	埼玉縣平民	田中義雄
同	二、四五二	福井縣平民	足立諒
同	二、四五三	大阪府平民	小野林利一
同	二、四五四	三重縣士族	米澤知造
同　一四	二、四八一	新潟縣平民	小田利吉
同	二、四八二	新潟縣平民	松原左武郎
同	二、四八三	兵庫縣士族	山口長五郎
同	二、四八四	大阪府平民	北川光雄
同　一七	二、四九四	高知縣士族	秦親眞
同	二、四九五	福井縣平民	鈴木俊定
同　一八	二、四九八	大分縣士族	吉武安男
同　一九	二、五〇八	富山縣平民	坂井茂
同	二、五〇九	岐阜縣平民	龍田恭齊
同	二、五一六	長野縣士族	篠原千津馬
同	二、五二二	福井縣平民	刀禰有恆
同	二、五二三	福井縣平民	千秋了
同	二、五三七	三重縣平民	西正胤
同	二、五三八	石川縣士族	伊藤喬
同	二、五七八	新潟縣平民	桑島柳吉
同	二、五七九	新潟縣士族	金子政治郎
同	二、五八〇	島根縣平民	影山清美
同	二、五八一	石川縣平民	柴田順三
同	二、五八二	岐阜縣平民	松久祐馬
同	二、五八三	新潟縣平民	吉川孝作
同	二、五八四	青森縣平民	村山常三郎
同	二、六〇〇	靜岡縣平民	鈴木幸平
長崎醫學專門學校醫學科卒業者			
同　五	二、三九八	佐賀縣平民	內山竹四
同　一〇	二、四三七	長崎縣平民	藤原昌之助
同	二、四三八	佐賀縣士族	末永備識
同	二、四三九	佐賀縣平民	永田美代春
同　三	二、四六四	佐賀縣平民	富吉景行
同	二、四六五	宮崎縣平民	新名拙也
同	二、四六六	福岡縣平民	青木萬
同	二、四六七	福岡縣平民	下川義夫
同	二、四六八	熊本縣士族	永松直
同　一七	二、四九三	佐賀縣士族	犬塚正雄
同　一九	二、五一七	鹿兒島縣平民	平川慶治
同	二、五一八	鹿兒島縣平民	酒匂[illegible]部
同　二四	二、五三九	福岡縣平民	田原八郎
同　二五	二、五四〇	福岡縣平民	弓削世根治
同	二、五六三	熊本縣平民	近藤久喜
同	二、五六四	長崎縣平民	小林安太郎
大阪府立高等醫學校醫學科卒業者			
同　五	二、三九二	兵庫縣平民	神山鹿治
同	二、三九三	兵庫縣平民	森本辨之助
同	二、三九四	靜岡縣平民	市川朋義
同	二、三九五	和歌山縣平民	笹井秀[illegible]
同	二、三九六	和歌山縣平民	駿田佐一
同　八	二、四三〇	兵庫縣平民	繁田筆次
同	二、四三一	兵庫縣士族	長手希一
同	二、四三二	兵庫縣平民	衣川績
同　一〇	二、四三三	山口縣平民	德永百太郎
同	二、四三四	大阪府平民	栗山三男
同　一三	二、四五五	廣島縣平民	安保米松
同	二、四五六	和歌山縣平民	佐田渚洋
同	二、四五七	大阪府平民	杉野彥太郎
同	二、四五八	滋賀縣平民	井口義一
同　一四	二、四七八	兵庫縣平民	井上董
同	二、四七九	長崎縣平民	磯野東馬
同	二、四八〇	長崎縣士族	原口道軒
同　一八	二、五一一	兵庫縣平民	井上健介
同	二、五一二	愛媛縣平民	越智隆之助
同　二三	二、五二四	和歌山縣平民	鈴間爲之助
同	二、五二五	岡山縣士族	細川源一郎
同　二四	二、五二六	愛媛縣士族	藤枝重舜
同　二七	二、五九九	大分縣平民	飯倉恒彥
愛知縣立醫學專門學校醫學科卒業者			
同　一八	二、五一〇	鳥取縣士族	石上秀二
同　二三	二、五二〇	愛知縣士族	三澤千代作
同　二七	二、五九八	愛知縣平民	西川豐
私立東京慈惠醫院醫學專門學校醫學科卒業者			
同　五	二、三九〇	新潟縣平民	林龜一郎
同　一〇	二、四四〇	山形縣平民	木下一雨
同　一八	二、五一三	青森縣平民	馬島順三
醫術開業試驗合格者			
同　一	二、三七七	愛知縣平民	飯田眞太郎
同	二、三八一	青森縣平民	鈴木寅太郎
同　四	二、四〇一	岐阜縣平民	葛西勇吉
同	二、四〇二	長野縣平民	加藤三郎
同　五	二、四〇三	佐賀縣士族	中根準一郎
同　六	二、四一八	山口縣平民	內山健一
同	二、四一九	山形縣平民	守谷富太郎
同	二、四二〇	茨城縣平民	倉持正直
同	二、四二一	熊本縣平民	樋口金次郎
同	二、四二二	福岡縣平民	今村ツタ
同　一三	二、四四二	三重縣平民	田中禾一郎
同　一四	二、四七〇	神奈川縣平民	皆川靜明
同	二、四七一	高知縣平民	氏原佐磯
同	二、四七二	大分縣平民	眞田清市
同	二、四八五	栃木縣平民	前澤政吉
同　一七	二、四八六	島根縣平民	天津親信
同	二、四八七	沖繩縣平民	大城幸太
同	二、四八八	岐阜縣平民	兒玉柳一
同	二、四八九	和歌山縣平民	堅谷之
同　一八	二、五〇三	山梨縣平民	手塚富三
同　一九	二、五一四	埼玉縣平民	松澤耕三郎
同	二、五一五	埼玉縣平民	山下留吉
同　二四	二、五二七	熊本縣平民	吉田嘉一
同	二、五二八	熊本縣平民	平木幸造
同	二、五二九	熊本縣平民	吉川定
同　二五	二、五三〇	福島縣平民	三留廣田
同	二、五三一	福島縣士族	小野誠淳
同	二、五三二	山梨縣平民	淺倉太一郎
同	二、五三三	和歌山縣平民	山田圭一
同　二七	二、五六五	三重縣平民	伊東龜太郎
同	二、五六六	新潟縣平民	增村健吾
同	二、五六七	山形縣平民	早坂廣見
同	二、五六八	熊本縣平民	牧島和助
同	二、五八九	山口縣平民	磯川龜七
同	二、五九〇	香川縣平民	平尾藤三郎

明治四十年一月　內務省

齒科醫師法第四條ニ依リ齒科醫籍ニ登錄シタル者左ノ如シ

登錄年月日	登錄番號	族籍	氏名
醫術開業齒科試驗合格者			
三九、一二、一〇	九二〇	三重縣平民	山下和三
同　一八	九二二	宮城縣平民	關藤治郎
同　二四	九二三	福岡縣平民	荻野倉治

明治四十年一月　內務省

○藥劑師名簿登錄

藥劑師免狀ヲ授與シ藥劑師名簿ニ登錄シタル者左ノ如シ

明治四十年一月　內務省

登錄年月日	登錄番號	族籍	氏名
千葉醫學專門學校藥學科卒業者			
三九、一二、一五	二、七五一	新潟縣平民	加藤緒一郎
同　二二	二、七六二	鹿兒島縣士族	弓削要輔
仙臺醫學專門學校藥學科卒業者			
同　二六	二、七七三	青森縣平民	小杉秀七
金澤醫學專門學校藥學科卒業者			
同　二五	二、七七二	新潟縣平民	渡邊常太郎
同　五	二、七四九	廣島縣平民	大江忠三
同	二、七五〇	岐阜縣平民	川勝寛三
同　一四	二、七五五	富山縣士族	村澤金廣
同	二、七六五	東京府士族	稻田[illegible]
同	二、七七〇	富山縣平民	金岡濟彥
長崎醫學專門學校藥學科卒業者			
同	二、七四三	香川縣平民	香川定次郎
同	二、七六三	佐賀縣平民	福島喜一
同	二、七六六	大阪府平民	井上康治
藥劑師試驗合格者			
同　四	二、七四四	愛知縣平民	松枝濟之助
同	二、七四五	長野縣平民	中澤作次郎
同	二、七四六	東京府平民	竹內小兵衞
同	二、七四七	三重縣平民	橋本逸次
同　五	二、七四八	京都府平民	吉田二郎
同	二、七五二	京都府平民	林田才吉
同　六	二、七五三	富山縣士族	西村休吾
同	二、七五四	栃木縣平民	豐田季吉
同　一〇	二、七五七	京都府平民	澤田意一
同	二、七五八	佐賀縣士族	蒲原總次郎
同	二、七六〇	香川縣平民	橋本[illegible]
同	二、七六一	香川縣平民	宮本[illegible]七
同	二、七六四	島根縣平民	右田正作
同	二、七六七	京都府士族	古川正重
同	二、七六八	福井縣平民	山本寶吉
同	二、七六九	長野縣士族	河崎進雄
同	二、七七一	三重縣平民	高田次豐

○寄贈品

明治三十七八年戰役ニ關シ各地陸軍病院ニ於テ受領シタル寄贈品及篤志者ノ氏名左ノ如シ

明治四十年一月　陸軍省

受領月日	品目	數量	評價	住所	官位勳爵氏名
三八、二、二三	生花	二瓶	圓 〇、六〇	愛知縣名古屋市門前町四ノ六三	野々村德次郎
同	同	一	〇、四〇	同市關鍛冶町四ノ八一	山中喜十郎
同	同	一	〇、二〇	同市東魚町二ノ一〇三	淺野良作
同	同	一	〇、二〇	同	淺野絹子
同二七	同	一	〇、二〇	同市東門前町五九	川島宮輔
同	同	一	〇、四〇	同町	伊藤金子
同	同	二	〇、二〇	同町六三	高木太七
同	同	一	〇、二〇	同市小川町	增田鳳澤
同二八	同	二	〇、四〇	同市黑門町二四	森米吉

第7066号 本文

同	同	二	〇・三〇	同市東柳町一九九	大河内才次郎
同	同	二	〇・二〇	同市同町一六二	鈴木千代吉
同	同	一	〇・八〇	同市同町八五	岩瀬倉三郎
同二九	同	四	〇・六〇	同市白壁町二三	宮崎宗鍾
同	同	三	〇・二〇	同市小田原町	桑峰造
同	同	一	〇・四〇	同市東門前町	川島富輔
同三〇	小説	四冊	〇・四〇	靜岡縣小笠郡掛川町魚町	濱口德平
同	雜誌	三	〇・四〇	三重縣員辨郡十社村東貝野	佐藤卯十郎
同	中京新聞外三種	三〇部六月	一四〇・四〇	愛知縣名古屋市日本赤十字社	愛知支部
同	新愛知	六〇〇部	九・〇〇	同縣同市本町二丁目新愛知新聞社長	大島宇吉
同	生花	二瓶	〇・八〇	同市南外堀町十丁目	早川兵次
同	同	一	〇・二〇	同市押切町字下十二島三	牛田德次郎
同	同	一	〇・二〇	同町三七	山岡又吉
同	同	一	〇・二〇	同町一〇	小山靜子
同	同	一	〇・二〇	同市桶屋町一	田島壽々子
同	同	一	〇・二〇	同町五	松本ゝま子
同	同	一	〇・二〇	同市和泉町一	伊藤鉚一郎
同	同	一	〇・二〇	同市桑名町一七〇	庵原庫子
同	同	一	〇・二〇	同	庵原宗義
同	同	一	〇・二〇	同縣西春井郡枇杷島町三一一	淺井喜輔
同	同	一	〇・二〇	同町三八	加藤捨次郎
同	同	一	〇・二〇	同町四五	村瀬正吉
同	同	一	〇・二〇	同町二四四	松本國次郎
同	同	一	〇・二〇	同町四六	高田佐吉
同	同	一	〇・二〇	同町一一五	櫻井新次郎
同	同	一	〇・二〇	同郡清洲町字木町一七二	伊藤八十八
同	同	二	〇・四〇	同縣海西郡五會村大字四[illegible]八三三	中野彌次郎
同	同	一	〇・二〇	同縣西加茂郡藤川村六六	海村靜子
同	同	一	〇・二〇	同	梅村春子
同三一	靜岡新報外一種	各一 一月	〇・五〇	靜岡縣靜岡市靜岡縣廳	縣長有志者
同	三重新聞外一種	各一	〇・六五	三重縣津市日本赤十字社	三重支部
同	濃飛日報	一	〇・二三五	岐阜縣岐阜市千歳町	吉田鈴太郎
同	靜岡民友新聞	一	〇・二五	靜岡縣靜岡市七間町	靜岡民友新聞社
同	參陽新報	一	〇・一五	愛知縣渥美郡豐橋町魚町	瀧澤安之助外二十人
同	靜岡新聞外一種	各一	〇・五〇	靜岡縣靜岡市	靜岡恤兵團
同	東京朝日新聞	一	〇・二八	同市安西南裏	松岡友吉
同	報知新聞外三種	各一	一・〇二	同市	靜岡醫會
同	中央新聞外一種	各一	〇・七五	同市西草深町	井上豐作
同一	菓子	二〇卷	二・〇〇	同縣濱名郡濱松町字新道	內田光子外二人
同	碁盤	一面	二・八〇	愛知縣渥美郡花田村大字八通	小林惣四郎
同三一	新朝報	六部一月	〇・九〇	同郡豐橋町本町新報社代表	近藤德一郎
同	參陽新報	三部一月	〇・三九	同町八丁參陽新報代表	久野從吉
同	東京日々新聞	一	〇・四〇	同郡豐岡村字瓦町渥美郡長從六位勳六等	市川信順
同二	卷莨	五〇箱	三〇・〇〇	三重縣津市長	黒川佐太郎
以上名古屋豫備病院ニ於テ受領ス					
同	小册子	一二部	〇・六〇	滋賀縣大津市東湖[illegible]寺住職	南野諦賢
同一七	郵便葉書	二、七〇〇枚	四〇・五〇	大阪市東區寺山町城南病院內	大阪赤誠婦人會
同	雜誌	四〇部	一・六〇	東京市麹町區飯田町六丁目	日本赤十字社
同一三	蜜柑	五箱	二・四〇	大阪市北區天満市場	高平ノブ
同	落語	三回	六・〇〇	同市南區日本橋筋東一ノ四六八五	田中常吉
同一六	淨瑠璃手踊	二	四・〇〇		
同	浪花節軍談	一	二・〇〇		
同二六	繪葉書	一組	一・三〇	北海道憲郡役務署內	工藤朝野輔
同二九	雜誌	三〇部	三・六〇	大阪市南區心齋橋一丁目	十合呉服店
以上大阪豫備病院ニ於テ受領ス					

○檢定教科用圖書

中學校數學科用

幾何學教科書 立體之部　全一冊　定價金四十五錢

明治四十年一月十六日訂正三版發行

著作者　鳥取縣平民　樺　正董　　發行者　東京府東京市神田區裏神保町一番地 靜岡縣士族　龜井忠一

右明治四十年一月十八日檢定ス

明治四十年一月　文部省

○生徒募集

本年四月入學セシムヘキ左記諸科ノ生徒ヲ募集ス入學志望者ハ同三月十五日マテニ當校到達ノ日取ヲ以テ願書ヲ差出スヘシ

明治四十年一月　女子高等師範學校

一 私費地理歷史專修科
一 募集人員　三十八
二 入學志願者資格
（イ）品行方正身體健全ニシテ教員タルニ適當ナリト認ムル者
（ロ）修業年限四箇年ノ官公立高等女學校卒業生及之ト同等ノ學力ヲ有スル者
（ハ）本年四月一日ノ調ニテ年齡滿十七年以上二十五年未滿ニシテ夫ヲ有セサル者（明治十五年四月三日以後同二十三年四月一日以前ニ生レタル者）

一 私費國語體操專修科
一 募集人員　三十八
二 入學志願者資格
（イ）品行方正身體健全ニシテ教員タルニ適當ナリト認ムル者
（ロ）修業年限四箇年ノ官公立高等女學校卒業生及之ト同等ノ學力ヲ有スル者
（ハ）本年四月一日調ニテ年齡滿十七年以上三十年未滿ニシテ夫ヲ有セサル者（明治十年四月三日以後同二十三年四月一日以前ニ生レタル者）

一 私費保育實習科
一 募集人員　八人
二 入學志願者資格
（イ）品行方正身體健全ニシテ保姆タルニ適當ナリト認ムル者
（ロ）女子師範學校師範學校女子部修業年限四箇年ノ官公立高等女學校卒業生及之ト同等ノ學力ヲ有スル者
三 入學試驗科目
國語　讀方　解釋　作文
音樂　單音唱歌　樂器用法
體格

一 入學願書及履歷書書式左ノ如シ

入學願書

私儀女子師範學校師範學校女子部高等女學校敎員志望ニ付御試驗ノ上御校（地理歷史專修科・國語體操專修科）生トシテ入學ノ儀御許可被成下度此段相願候也

明治四十年　月　日

原籍　族籍（寄留者ハ寄留籍ヲ併記スヘシ）
戶主何某（姉妹長女等）等（本人戶主ニアラサレハ）
本人　何　某㊞

女子高等師範學校長高嶺秀夫殿

入學願書

私儀幼稚園保姆志望ニ付御檢定ノ上御校保育實習科生トシテ入學ノ儀御許可被成下度此段相願候也

明治四十年　月　日

原籍　族籍（寄留者ハ寄留籍ヲ併記スヘシ）
戶主何某（姉妹長女等）等（本人戶主ニアラサレハ）
本人　何　某㊞

女子高等師範學校長高嶺秀夫殿

履歷書

原籍　族籍（寄留者ハ寄留籍ヲ併記スヘシ）
戶主何某（姉妹長女等）等（本人戶主ニアラサレハ）
生所　何府縣何郡何町村……
何　某
生年月日

一 卒業證書免許狀
何年何月何日官道廳府縣市町村（私）立何學校ニ於テ何學科卒業證書ヲ受ク（證書寫ヲ添フヘシ）
何年何月何日何所ニ於テ何免許狀ヲ受ク（免許狀寫ヲ添フヘシ）
一 學業
何年何月何日ヨリ何年何月何日マテ何所何某ニ就キ何學科ヲ修業ス
何年何月何日官道廳府縣市町村（私）立何學校ニ入リ何學科ヲ修業シ何年何月何日卒業或ハ何々ニ付半途退學シ或ハ現ニ何箇年ノ課程ヲ卒フ
一 職業
何年何月何日官道廳府縣ニ於テ訓導拜命何國何市區郡何學校ニ在勤何年何月何日依願免官或ハ現今在勤等
一 賞罰
何年何月何日何所ニ於テ何々ニ付何賞ヲ受ケ或ハ何罰ヲ受ク等
右之通相違無之候也

明治四十年一月　右　何　某㊞

一 入學志願者ハ前記入學願書履歷書ノ外ニ本月二十日以後ノ證明ニ係ル戶籍抄本ヲ添ヘテ差出スヘシ
一 道廳府縣立師範學校卒業生ニシテ服務年限中ニ在ル者及現ニ職務ヲ奉スル者ハ其所屬地方長官ノ許可書ヲ添ヘテ差出スヘシ
一 入學試驗ハ本年四月四日ヨリ當校ニ於テ施行ス
一 入學志願者ニ對シテハ別ニ通知ヲ發セサルニ付キ本年四月二日午前十時出校受驗票其他ノ書類ヲ受取ルヘシ
一 入學願書ハ自身出校スルカ然ラサレハ書留郵便ヲ以テ差出スヘシ

本年四月入學セシムヘキ本校本科竝ニ專修科英、佛、獨、露、伊、西、淸、韓各語學科第一年級生徒ヲ募集ス其要項左ノ如シ

明治四十年一月　東京外國語學校

本科生徒募集要項

一 本科各語學科第一年級生徒募集人員ハ各〻三十八トス
二 本科各語學科第一年級ニ入學スルコトヲ得ヘキ者ハ左記ノ一ニ該當シ且ツ入學試驗及身體檢査ニ合格スルコトヲ要ス
一 中學校卒業者　一 甲種商業學校卒業者　一 專門學校入學者檢定規程ニ依ル檢定ニ合格シタル者
三 入學試驗ハ左記ノ科目ニ就キ中學校卒業ノ程度ニ依リ之ヲ行フ
一 國語漢文　一 地理歷史　一 外國語（英、露、伊、西、淸、韓各語學科ハ英語／佛語學科ハ英語若クハ佛語／獨語學科ハ英語若クハ獨語）
四 應募者ハ左記ノ各書類ニ試驗料金三圓（現金又ハ郵便爲替ニ限ル）ヲ添ヘ本年三月六、七、八ノ三日內ニ本校ニ提出スヘシ
一 履歷書（書式別記ノ通）
一 卒業學校長ノ卒業、試驗成績證明書（專門學校入學者檢定規程ニ依ル試驗檢定合格者又ハ明治三十五年文部省告示第八十二號ニ依ル高等學校入學者試驗合格者ニ在リテハ其合格證明書）
一 最近撮影ノ手札形紙寫眞（半身脫帽ノモノタルヘシ裏面ニハ志望語學科及氏名ヲ明記スヘシ）
應募者ハ前記書類提出ノ際入學受驗者證票ヲ受領スヘシ其郵便差立ニ係ルモノハ該證票送付用トシテ三錢郵券一葉添付ヲ要ス
旣納ノ試驗料ハ如何ナル事情アルモ之ヲ返付セス
五 中學校又ハ甲種商業學校若クハ專門學校入學者檢定規程第八條第一號ニ依ル指定學校ニ在學中ノ者ニシテ當該學校長ニ於テ本校本年入學試驗期日前ニ卒業ノ見込アリト證明シタル者ニ限リ前項ニ準シ本募集ニ應スルコトヲ得、本項ノ應募者ハ入學受驗ノタメ出校ノ際更ニ卒業試驗成績證明書ヲ差出スコトヲ要ス
六 佛又ハ獨語學科應募者ニシテ英語以外ノ外國語ニテ受驗セントスル者ハ履歷書中ニ「受驗語何語」ト附記スルコトヲ要ス
七 入學試驗ハ本年四月一日ヨリ凡ソ三日間本校內ニ於テ之ヲ行フ其時間割ハ同三月末官報ニ廣告シ併テ校內ニ揭示ス

書式（履歷書中自己ノ氏名ニハ必ス傍訓ヲ附スヘシ）

履歷書（用紙半紙形）

族籍（道、府、縣、郡市區町村字番地 華士族平民戶主又ハ戶主ト續柄）
志望語學科
（受驗語何語）
何　某㊞　何年何月何日生
現住所、、、、、、、、、、
一 學業　何年何月何日官、公、私立何學校入學何年何月卒業
一 賞罰　何年何月何日何所ニ於テ何々ニ付賞又ハ罰ヲ受ク
以上
右之通候也
年　月　日
東京外國語學校長文學博士高楠順次郎殿

（備考）
一 卒業試驗成績證明書ハ各學科每ニ評點ヲ記入シタルモノタルヘシ
一 專門學校入學者檢定規程第八條第一號ノ指定者調ハ昨三十九年五月七日官報彙報欄內學事ノ部ニ在リ
一 試驗料ヲ郵便爲替ニテ納付セントスルトキハ拂渡局ヲ「神田一ツ橋通郵便局」ト指定スヘシ

專修科生徒募集要項

一 專修科ハ速成ヲ旨トシ本校所設ノ各語學ヲ敎授ス
專修科ノ修業年限ハ二箇年、授業時數ハ一週十時間トシ每日（土曜、日曜、大祭祝日ヲ除キ）午後四時三十分以後ニ於テ授業ス
專修科各語學科第一年級ニ入學スルコトヲ得ル者ハ職業ヲ有スル者若クハ特別ノ事情アリト認メタル者ニ限ル
二 應募者ハ本年三月十一、十二、十三ノ三日內ニ履歷書（書式ハ本科生徒募集要項中ノモノニ準シ職業アル者ハ氏名ノ上ニ記入スヘシ）ヲ本校ニ提出スヘシ
英語學科第一年級應募者ハ履歷書提出ノ際入學受驗者證票ヲ受領スヘシ其郵便差立ニ係ルモノハ該證票送付用トシテ三錢郵券一葉添付ヲ要ス
三 英語學科ノ外入學試驗ヲ行ハス
英語學科入學試驗ハ英語ニ就キ中學校卒業程度ニ依リ之ヲ行フ
四 英語學科入學試驗ハ本年四月十一日午後四時三十分ヨリ本校內ニ於テ之ヲ行フ
五 各語學科入學許可者氏名ハ本年四月中旬之ヲ發表ス
（備考）專修科生ハ徵兵猶豫出願ノ資格ナシ

○郵便沒書

有價物件在中郵便沒書（三十九年十一月分）

左記郵便物心當ノ者ハ所轄一等郵便局ニ申出ツヘシ

明治四十年一月　遞信省

發信人ノ部		受信人ノ部	
深川區東元町十四	加藤米吉	牛込區市ケ谷谷町監獄內	村道龍
淺草區三筋町	濱島てい子	岩代福島町松葉館	福田冬子
｜	吉原組	小石川區小日向水道町何番地	差出元
｜	龍谷譜二	麻布區簞笥町四十九	石井傳三郎
淺草區馬道二丁目五	豐島タマ	北豐島郡巣鴨村三二七七	豐島金太郎
神田區五軒町九十一	森田勝次	北豐島郡巣鴨監獄內	森田直次郎
赤坂區青山南町	山澤	日本橋區本町五十九田中方	北山
｜	佐藤せき	淺草區二丁目二十四	平山德太郎
｜	｜	北海道小樽市花園町十一	赤木糸子
京橋區八丁堀岡崎町一ノ三	山本ヨシ	北豐島郡巣鴨村一二七七	山本次郎
以上所轄東京一等郵便局			
大阪新町二丁目	山本タツ	南畑分綿町加有金安宿內	角脇亮平
｜	佐渡つね	近江國長濱神戸町八二佐渡四郎方	佐渡母上
｜	大倉きよ一	｜	玉造役所署
｜	大倉きよ一	｜	玉造警察署長
｜	山下印刷所	神戸市元町一丁目	細井活版印刷所
｜	｜	京都市下京區大門前	藤川眞吉
｜	｜	奈良縣北葛城郡	百濟村

以上所轄大阪一等郵便局
横濱市羽衣町一丁目五十七番地
遠江濱松馬込
以上所轄横濱一等郵便局
以上所轄神戸一等郵便局
佐世保
以上所轄長崎一等郵便局
空知郡砂川町小松キン方
蛇田郡俱知安村北一線西五十五番地鈴木重太郎方
以上所轄札幌一等郵便局
新潟市古町十二番町二八八三
以上所轄新潟一等郵便局
門司市本町二丁目小栗回漕店
以上所轄名古屋一等郵便局
八代郡鏡町
在綿崎
鞍手郡宮田村
以上所轄熊本一等郵便局
上灘村以布利
以上所轄高松一等郵便局

其他發信人及受信人ノ宿所氏名無記不明ニ係ル藥品二箇、一鐘、乾鯛二尾、一錢切手一枚、英和辭書一冊、洋銀簪一本、印一箇、亞鉛板二箇、同一箇、蛤貝入藥品一箇、五厘切手二枚、葉書一枚、拾錢銀貨五枚（金五十錢）、認印木製一箇、罐入砂糖一箇……茶入一箇

有價物件在中小包郵便沒書（三十九年十一月分）
神奈川縣三浦郡横須賀町
豐島町深田二三武藤豐吉方
横濱市西影町二ノ六
以上所轄横濱一等郵便局
札幌區北一條西十四丁目日印
笠原方
以上所轄札幌一等郵便局

明治四十年一月　　　　　　　　　　　　　　　　郵便為替貯金管理所

○貯金通帳亡失及盜難

左記貯金通帳亡失及盜難ニ係リタルニ付キ若シ其所在ヲ發見シタル者ハ速ニ最寄郵便貯金取扱所ニ届出ヘシ

第7066号　本文

第7066호 本文

あか	五〇八	武藏	草加局	達見吉五郎
あま	三七四	同	小川局	福田重右衛門
同	三六三	同	同局	柿間仙吉
いほな	四七一一	同	遞信省構内局	神保條造
いゐ	一九三八七	同	新橋局	円谷喜一郎
いはれ	三四七三	同	本郷根津宮永町局	酒井榮治郎
めの	八六七	遠江	靜波局	内藤願
めろる	一九九	同	上長尾局	田住繁太郎
めわ	一八一	駿河	吉原局	池田善助
たゆ	一二〇	岩代	松川局	長澤ヤヱ
やすい	三二九一	伊勢	櫛田局	奥田三右衛門
同	三三三九	同	同局	山本恒次郎
ゑほ	一一二	陸奥	福岡局	種村理太郎
みいぬ	二〇七	羽前	宮宿局	佐竹善兵衛
みいち	一八二	同	貫見局	同　義藏
たいほ	三三一	岩代	群岡局	佐藤常松
たすい	四〇一	磐城	木戸局	里見たけ
しはと	二八六	陸前	長町局	高橋よし
れすい	一一三九	飛驒	御觀野局	進藤仁平
むろ	一二九一六	信濃	松本局	草間かねへ
あく	二二五二	武藏	大越局	田中森藏

たろほ	三一	磐城	瀬川局	本田房治
たむ	二四八	岩代	保原局	大橋萬五郎
なさ	二五五	信濃	北城局	山岸政一郎
むつ	七六八	同	須坂局	駒村すゑ
おと	六八八	下野	島山局	玉崎捨次郎
むろよ	一九〇	信濃	七二會局	瀧澤幸藏
むつ	一一七八	同	須坂局	松永ナヲ
れろわ	二四九	常陸	鹿島局	中村彌一郎
同	三三八	同	同局	中村てい
おいに	五六二	下野	下籠谷局	川上ミネ
同	一五五一	同	同局	同　信三郎
やいほ	一四二	伊勢	上野局	伊藤仙右衛門
いれ	一〇〇四九	武藏	下谷局	洞内岩吉
ゆい	六九二九	甲斐	甲府局	坂本志はか
ゆよ	三八三	同	小笠原局	河野愛藏
をむ	四九五	上總	八幡局	山下房吉
りいす	一〇〇五	相模	横須賀大瀧町局	島田利助
恩り	四二九八	管理本所		永田康之助
おすい	五二	不明		星德十郎
おろ	五一三三	下野	宇都宮局	大澤勝
めはほ	二四五	駿河	伊久美局	西田豐太郎

○證券保管通帳亡失

左記證券保管通帳亡失ニ付キ自今無效トス但シ其所在ヲ發見シタルトキハ速ニ郵便爲替貯金管理所ニ通報スヘシ

明治四十年一月　郵便爲替貯金管理所

證券保管通帳記番號		預ケ入氏名
恩ぬ	六八三七番	西尾榮次
恩か	五二六番	宮谷れと

○登記公告方

明治四十年中當廳ニ於テ取扱フ登記ニ關スル公告ハ韓國平壤ニ於テ發行スル平壤新報ニ掲載ス

明治三十九年十二月　平壤理事廳

○町村役場位置變更

加佐郡余内村役場位置ヲ本年十月一日ヨリ同村大字上安小字杉ノ水二百九番地ヘ變更ノ件本月十五日認可セリ

明治四十年一月　京都府

吾妻郡草津町役場位置ヲ今般同町草津村字新田町甲三十九番ノ一ニ變更ノ件本月十八日認可セリ

明治四十年一月　群馬縣

○狩獵免狀

第七二九號　乙種三等狩獵免狀(遺失)　西成郡豐崎村大字南長柄百四十五番地　木村彌三郎

明治四十年一月　大阪府

○購買入札

一綿　一万七千七百七十六材　一砂利　立十坪
一「セメント」(三百八十封)　百樽　一川砂　立八坪
以上入札保證金各自見積代價百分ノ五以上、入札者ハ二年以上引續キ其業ニ從事セル旨郡市區町村長ノ證明アル者ニ限ル

右購買ス入札望ノ者ハ來ル二月四日マテニ當部ニ就キ入札心得書、契約書案及仕樣書等熟覽ノ上同五日午前十一時限當部ニ入札スヘシ即時開札ス

此契約ハ第五師團經理部長上田五郎擔任ス

明治四十年一月二十一日　第五師團經理部

一松炭　六万瓩
一堅炭　五万瓩
以上入札保證金各自見積代價百分ノ五以上
一杉板割幅九寸八分以上　三千枚
一同　幅七寸七分以上　二千枚

右購買ス入札望ノ者ハ當廠會計部ニ就キ契約書案及入札心得書等熟覽ノ上來ル二月四日午後一時限入札書差出スヘシ即時開札ス

此契約ハ海軍造兵廠長澤鑑之丞擔任ス

明治四十年一月二十一日　海軍造兵廠

一石炭　二百万瓩
一「ヤマトメタル」　三千瓩
一「マグノリヤメタル」　三千瓩
一「サタルンダイナモノ」油　九千六百瓩
一「メーンシヤフト」用「ブラケット」　四十箇
一錨鐵用坩堝　四百箇
一玉川砂利　百三十坪
一白綱　三千五百瓩
以上入札保證金各自見積代價百分ノ五以上、契約保證金請負代價百分ノ十(圓未滿切上ケ圓止トス)、入札者ハ二年以來其業ニ從事スル者ニ限ル

右購買ス入札望ノ者ハ當部計算課ニ就キ入札心得書及契約書案等熟覽ノ上來ル二月五日午後一時限營業證明書及入札保證金ヲ添ヘ同課ニ入札書差出スヘシ同時三十分開札ス

此契約ハ横須賀海軍工廠會計部長烏山頼二擔任ス

明治四十年一月二十一日　横須賀海軍工廠會計部

一裸麥　三百石
一臺灣白米　百五十石
入札保證金各自見積價格百分ノ五以上

右購買ス入札望ノ者ハ當監第三課ニ就キ入札心得書、契約書案、仕樣書及標本等熟覽ノ上來ル二月四日午前十一時マテニ當監ニ入札書差出スヘシ即時開札ス

此契約ハ巣鴨監獄典獄山上義雄擔任ス

明治四十年一月二十一日　巣鴨監獄

一既寫器　四百五十箇　新橋納　入札保證金各自見積代價百分ノ五以上(圓未滿切上ク)

右購買ス入札望ノ者ハ當部購買掛ニ就キ入札人心得書及契約書案等熟覽ノ上本月二十八日午前十一時限入札書ヲ同所ニ差出スヘシ即時開札ス

此契約ハ鐵道作業局計理部長圖師民嘉擔任ス

明治四十年一月二十一日　鐵道作業局計理部

○購買及拂下入札

一杉押角材　千九百五十二立方尺　一「ニユーマチツク、ハンマー」　十一箇
一「アメリカ」松角材　五千四百四十三立方尺　一圓引鋸　六十箇
以上入札保證金各自見積代價百分ノ五以上、入札者ハ二年以來其業ニ從事スル證明ヲ有スル者ニ限ル
以上購買ス
一三角銅納鐺金具外五十九點　入札保證金各自見積代價百分ノ五以上
右賣却ス

右供給及買受望ノ者ハ當部計算課ニ就キ契約書案及入札人心得書等熟覽ノ上來ル二月四日午後二時限營業證明書及入札保證金ヲ添ヘ入札書ヲ差出スヘシ即時同課ニ於テ開札ス但シ賣却品熟覽ハ來ル二月二日午後二時ヨリトス

此契約ハ佐世保海軍工廠會計部長秋山藤吉擔任ス

明治四十年一月二十一日　佐世保海軍工廠會計部

○請負入札

一文部省第三十三年報　第一册三千百五十册　第二册千四百三十册　計　四千五百八十册

右入札ニ付シ本月二十八日午前十一時文部省ニ於テ開札ス

印刷製本請負望ノ者ハ當課ニ就キ注文書、文部省工事竝物件入札及請負規則等熟覽ノ上二年以來其業ニ從事シ且ツ東京市内ニ於テ印刷製本工場ヲ所有セル證明書ヲ開札期日前日マテニ當課ニ差出シ承認ヲ受ケ入札保證金ハ見積金額百分ノ五以上ヲ開札時刻十分前マテニ入札書ト共ニ入札執行ノ場所ニ差出スヘシ

此契約ハ文部大臣官房會計課長松村茂助擔任ス

明治四十年一月二十一日　文部大臣官房會計課

○工事請負入札

東海道線靜岡停車場構内覆布置場新設其他工事
一木造鐵板葺覆布置場一棟新設　建坪二十五坪
一同上乾場一棟改增築　同　二十四坪
} 本月二十八日入札

同線米原停車場構内覆布置場設置竝同乾場改增築工事
一木造覆布置場一箇所設置　建坪二十七坪七合七勺八才
一木造鐵板葺覆布乾場一棟改造築　同　二十四坪
} 來ル二月五日入札

以上入札保證金毎工事各自見積代價百分ノ五以上(圓未滿切上ク)

右請負望ノ者ハ前者ハ當部靜岡保線事務所ニ、後者ハ同名古屋保線事務所ニ就キ入札人心得書、契約書案、示方書、圖面及現場等熟覽ノ上各々指定ノ期日午前十一時限入札書ヲ當該事務所ニ差出スヘシ即時開札ス

此契約ハ鐵道作業局工務部長心得山口準之助擔任ス

明治四十年一月二十一日　鐵道作業局工務部

○商業登記

一商號　横須賀瓦斯株式會社
一本店　三浦郡横須賀町汐入六十四番地
一目的　石炭瓦斯製造及之レニ附帶スル事業
一設立ノ年月日　明治三十九年十二月十三日
一資本ノ總額　金二十五万圓
一一株ノ金額　金五十圓
一各株ニ付拂込ミタル株金額　金十二圓五十錢
一公告ヲ爲ス方法　所轄登記所ノ公示スル新聞紙ヲ以テ公告ス
一存立ノ時期又ハ解散ノ事由　營業開始ノ當日ヨリ滿三十箇年トス
一取締役ノ氏名住所
武藏國横濱市本町二丁目二十七番地　平沼延治郎
同國同市相生町六丁目百七番地　内山敬三郎
同國同市北仲通一丁目十一番地　池田芳藏
相模國三浦郡横須賀町若松七番地　大井鉄丸
同國同郡浦賀町大津七百七十三番地　石渡秀吉
一監査役ノ氏名住所
相模國三浦郡横須賀町旭町三十四番地　青木兼吉
武藏國横濱市南太田町二千八十五番地　志村保一

右明治四十年一月十四日株式會社登記簿第二册第十三號ニ登記ス

横須賀區裁判所

登記第一號豐津倉庫株式會社登記事項中左ノ如ク變更ス
一取締役任期滿了ニ付改選ノ結果明治四十年一月十二日左記ノ二名重任就任シタリ
鹿島郡豐津村大船津百九十二番地　大川茂助
同所五十三番地　小倉太四郎

右明治四十年一月十五日登記

麻生區裁判所宮中出張所

株式會社下野銀行登記事項中明治四十年一月十四日株主臨時總會ニ於テ改選シタルニ因リ左ノ通變更ス
一監査役ノ氏名住所
栃木縣鹽谷郡北高根澤村大字中柏崎十番地　矢口長右衛門
同縣下都賀郡石橋町大字石橋二十八番地　伊澤毅一郎
同縣芳賀郡市羽村大字赤羽百六十番地　藤平謹一郎

右明治四十年一月十六日登記

宇都宮區裁判所

株式會社粟野銀行今市支店登記事項中左ノ通變更ス
一明治四十年一月十五日株主定時總會ニ於テ監査役滿期改選ノ處左ノ者再選重任セリ
上都賀郡今市町大字今市三十一番地　渡邊佐平
同郡加蘇村大字加園四十八番地　金子爲作
同郡今市町大字今市八十四番地　池田惣三郎

右明治四十年一月十七日登記

宇都宮區裁判所今市出張所

株式會社馬頭銀行登記事項中左ノ通變更ス
一監査役滿期ニ付明治四十年一月十三日株主總會ニ於テ改選ノ結果再選重任ス
一監査役ノ氏名住所
那須郡馬頭町大字馬頭二十八番地　金子三九郎
同郡同町大字同所六十二番地　羽石龍藏

右明治四十年一月十六日登記

大田原區裁判所馬頭出張所

株式會社登記簿第六號
一商號　沼田物産株式會社
二本店　群馬縣利根郡沼田町七百三番地
三支店　同縣同郡久賀村大字布施村五十番地
四目的　諸物産貨物ノ委託販賣　諸商品ノ購買引受　倉庫業　醬油ノ釀造及販賣
五設立ノ年月日　明治三十九年十二月三十日
六資本ノ總額　金五万圓
七一株ノ金額　金五十圓
八各株ニ付拂込ミタル株金額　金十二圓五十錢
九公告ヲ爲ス方法　所轄登記所ノ公告スル新聞紙ヲ以テス
十取締役ノ氏名住所
群馬縣利根郡沼田町五百六十番地　中島藤兵衛
同縣同郡利南村大字戸鹿野新町二十九番地　星野弥之助
同縣同郡赤城根村大字日影南郷村三番地　鈴木喜左衛門
同縣同郡川田村大字屋形原村百九番地　黑岩佐五七
同縣同郡白澤村大字平出村十八番地　小野喜市
同縣同郡久賀村大字布施村二十六番地　原澤宇源治
同縣同郡同村大字入須川村九十四番地　富澤茂七
十一監査役ノ氏名住所
同縣同郡古馬牧村大字眞庭村七十四番地　眞庭治兵衛
同縣同郡利南村大字戸鹿野村二十二番地　星野銀治
同縣同郡薄根村大字町田村二十四番地　堀江吉郎兵衛
同縣同郡白澤村大字岩室村三十一番地　中村門作
同縣同郡久賀村大字東峯須川村十七番地　河合利三郎
十二存立時期　設立ノ日ヨリ滿二十箇年

右明治四十年一月十二日登記ス

支配人登記簿第四號
一支配人ノ氏名住所　群馬縣利根郡沼田町百八十三番地　角田暉次郎
一主人ノ氏名住所　同縣同郡沼田町七百三番地　沼田物産株式會社
一主人ノ營業　諸物産貨物ノ委託販賣　諸商品ノ購買引受　倉庫業　醬油ノ釀造及販賣

沼田區裁判所

第7066号　本文

ルニ於テハ判事ノ命ニ依リ書記之ニ代ツテ其事務ヲ取扱フ
モノトス
第三條　本所ニ於テ取扱フ事務ノ種類ハ左ノ如シ
一　競賣ニ關スル事務
二　競賣ニ關スル事務ニ付テノ證書ノ作成
三　競賣ニ關スル事務ニ付テノ證書ノ保存
四　競賣ニ關スル事務ニ付テノ證書ノ謄本抄本ノ交付
五　競賣ニ關スル事務ニ付テノ證書ノ閲覽
六　其他法令ニ依リ本所ノ職務ニ屬スルモノ
第四條　本所ニ於テ取扱フ事務ノ時間ハ左ノ如シ
午前九時ヨリ午後四時マテ
但シ競賣ニ關スル事務ニ付テハ其競賣ノ開始ヨリ終了マテ
第五條　本所ニ於テ取扱フ事務ニ關スル手數料ハ左ノ如シ
一　競賣ニ關スル事務ニ付テハ競賣ニ係ル不動産ノ價額ニ對シ百圓ニ付キ金二錢ノ割合ヲ以テ競賣ノ終了ト同時ニ競賣ヲ受ケタル者ヨリ之ヲ徴收ス
二　競賣ニ關スル事務ニ付テノ證書ノ作成ニ關スル手數料ハ其證書ノ價額ニ對シ百圓ニ付キ金二錢ノ割合ヲ以テ其證書ノ作成ヲ請求シタル者ヨリ之ヲ徴收ス
三　競賣ニ關スル事務ニ付テノ證書ノ保存ニ關スル手數料ハ其證書ノ價額ニ對シ百圓ニ付キ金二錢ノ割合ヲ以テ其證書ノ保存ヲ請求シタル者ヨリ之ヲ徴收ス
四　競賣ニ關スル事務ニ付テノ證書ノ謄本抄本ノ交付ニ關スル手數料ハ其證書ノ價額ニ對シ百圓ニ付キ金二錢ノ割合ヲ以テ其證書ノ謄本抄本ノ交付ヲ請求シタル者ヨリ之ヲ徴收ス
五　競賣ニ關スル事務ニ付テノ證書ノ閲覽ニ關スル手數料ハ其證書ノ價額ニ對シ百圓ニ付キ金二錢ノ割合ヲ以テ其證書ノ閲覽ヲ請求シタル者ヨリ之ヲ徴收ス
第六條　本所ニ於テ取扱フ事務ニ關スル手數料ハ前條ノ規定ニ依リ計算シタル金額ニ對シ其十分ノ一ヲ增減スルコトヲ得
第七條　本所ニ於テ取扱フ事務ニ關スル手數料ハ前條ノ規定ニ依リ計算シタル金額ニ對シ其十分ノ一ヲ增減スルコトヲ得
第八條　本所ニ於テ取扱フ事務ニ關スル手數料ハ前條ノ規定ニ依リ計算シタル金額ニ對シ其十分ノ一ヲ增減スルコトヲ得
第九條　本所ニ於テ取扱フ事務ニ關スル手數料ハ前條ノ規定ニ依リ計算シタル金額ニ對シ其十分ノ一ヲ增減スルコトヲ得
第十條　本所ニ於テ取扱フ事務ニ關スル手數料ハ前條ノ規定ニ依リ計算シタル金額ニ對シ其十分ノ一ヲ增減スルコトヲ得
第十一條　本所ニ於テ取扱フ事務ニ關スル手數料ハ前條ノ規定ニ依リ計算シタル金額ニ對シ其十分ノ一ヲ增減スルコトヲ得
第十二條　本所ニ於テ取扱フ事務ニ關スル手數料ハ前條ノ規定ニ依リ計算シタル金額ニ對シ其十分ノ一ヲ增減スルコトヲ得
第十三條　本所ニ於テ取扱フ事務ニ關スル手數料ハ前條ノ規定ニ依リ計算シタル金額ニ對シ其十分ノ一ヲ增減スルコトヲ得
第十四條　本所ニ於テ取扱フ事務ニ關スル手數料ハ前條ノ規定ニ依リ計算シタル金額ニ對シ其十分ノ一ヲ增減スルコトヲ得
第十五條　本所ニ於テ取扱フ事務ニ關スル手數料ハ前條ノ規定ニ依リ計算シタル金額ニ對シ其十分ノ一ヲ增減スルコトヲ得
第十六條　本所ニ於テ取扱フ事務ニ關スル手數料ハ前條ノ規定ニ依リ計算シタル金額ニ對シ其十分ノ一ヲ增減スルコトヲ得
第十七條　本所ニ於テ取扱フ事務ニ關スル手數料ハ前條ノ規定ニ依リ計算シタル金額ニ對シ其十分ノ一ヲ增減スルコトヲ得
第十八條　本所ニ於テ取扱フ事務ニ關スル手數料ハ前條ノ規定ニ依リ計算シタル金額ニ對シ其十分ノ一ヲ增減スルコトヲ得
第十九條　本所ニ於テ取扱フ事務ニ關スル手數料ハ前條ノ規定ニ依リ計算シタル金額ニ對シ其十分ノ一ヲ增減スルコトヲ得
第二十條　本所ニ於テ取扱フ事務ニ關スル手數料ハ前條ノ規定ニ依リ計算シタル金額ニ對シ其十分ノ一ヲ增減スルコトヲ得
第二十一條　本所ニ於テ取扱フ事務ニ關スル手數料ハ前條ノ規定ニ依リ計算シタル金額ニ對シ其十分ノ一ヲ增減スルコトヲ得
第二十二條　本所ニ於テ取扱フ事務ニ關スル手數料ハ前條ノ規定ニ依リ計算シタル金額ニ對シ其十分ノ一ヲ增減スルコトヲ得
第二十三條　本所ニ於テ取扱フ事務ニ關スル手數料ハ前條ノ規定ニ依リ計算シタル金額ニ對シ其十分ノ一ヲ增減スルコトヲ得
第二十四條　本所ニ於テ取扱フ事務ニ關スル手數料ハ前條ノ規定ニ依リ計算シタル金額ニ對シ其十分ノ一ヲ增減スルコトヲ得
第二十五條　本所ニ於テ取扱フ事務ニ關スル手數料ハ前條ノ規定ニ依リ計算シタル金額ニ對シ其十分ノ一ヲ增減スルコトヲ得
第二十六條　本所ニ於テ取扱フ事務ニ關スル手數料ハ前條ノ規定ニ依リ計算シタル金額ニ對シ其十分ノ一ヲ增減スルコトヲ得
第二十七條　本所ニ於テ取扱フ事務ニ關スル手數料ハ前條ノ規定ニ依リ計算シタル金額ニ對シ其十分ノ一ヲ增減スルコトヲ得
第二十八條　本所ニ於テ取扱フ事務ニ關スル手數料ハ前條ノ規定ニ依リ計算シタル金額ニ對シ其十分ノ一ヲ增減スルコトヲ得
第二十九條　本所ニ於テ取扱フ事務ニ關スル手數料ハ前條ノ規定ニ依リ計算シタル金額ニ對シ其十分ノ一ヲ增減スルコトヲ得
第三十條　本所ニ於テ取扱フ事務ニ關スル手數料ハ前條ノ規定ニ依リ計算シタル金額ニ對シ其十分ノ一ヲ增減スルコトヲ得
第三十一條　本所ニ於テ取扱フ事務ニ關スル手數料ハ前條ノ規定ニ依リ計算シタル金額ニ對シ其十分ノ一ヲ增減スルコトヲ得
第三十二條　本所ニ於テ取扱フ事務ニ關スル手數料ハ前條ノ規定ニ依リ計算シタル金額ニ對シ其十分ノ一ヲ增減スルコトヲ得
第三十三條　本所ニ於テ取扱フ事務ニ關スル手數料ハ前條ノ規定ニ依リ計算シタル金額ニ對シ其十分ノ一ヲ增減スルコトヲ得
第三十四條　本所ニ於テ取扱フ事務ニ關スル手數料ハ前條ノ規定ニ依リ計算シタル金額ニ對シ其十分ノ一ヲ增減スルコトヲ得
第三十五條　本所ニ於テ取扱フ事務ニ關スル手數料ハ前條ノ規定ニ依リ計算シタル金額ニ對シ其十分ノ一ヲ增減スルコトヲ得
第三十六條　本所ニ於テ取扱フ事務ニ關スル手數料ハ前條ノ規定ニ依リ計算シタル金額ニ對シ其十分ノ一ヲ增減スルコトヲ得
第三十七條　本所ニ於テ取扱フ事務ニ關スル手數料ハ前條ノ規定ニ依リ計算シタル金額ニ對シ其十分ノ一ヲ增減スルコトヲ得
第三十八條　本所ニ於テ取扱フ事務ニ關スル手數料ハ前條ノ規定ニ依リ計算シタル金額ニ對シ其十分ノ一ヲ增減スルコトヲ得
第三十九條　本所ニ於テ取扱フ事務ニ關スル手數料ハ前條ノ規定ニ依リ計算シタル金額ニ對シ其十分ノ一ヲ增減スルコトヲ得
第四十條　本所ニ於テ取扱フ事務ニ關スル手數料ハ前條ノ規定ニ依リ計算シタル金額ニ對シ其十分ノ一ヲ增減スルコトヲ得
第四十一條　本所ニ於テ取扱フ事務ニ關スル手數料ハ前條ノ規定ニ依リ計算シタル金額ニ對シ其十分ノ一ヲ增減スルコトヲ得
第四十二條　本所ニ於テ取扱フ事務ニ關スル手數料ハ前條ノ規定ニ依リ計算シタル金額ニ對シ其十分ノ一ヲ增減スルコトヲ得
第四十三條　本所ニ於テ取扱フ事務ニ關スル手數料ハ前條ノ規定ニ依リ計算シタル金額ニ對シ其十分ノ一ヲ增減スルコトヲ得
第四十四條　本所ニ於テ取扱フ事務ニ關スル手數料ハ前條ノ規定ニ依リ計算シタル金額ニ對シ其十分ノ一ヲ增減スルコトヲ得
第四十五條　本所ニ於テ取扱フ事務ニ關スル手數料ハ前條ノ規定ニ依リ計算シタル金額ニ對シ其十分ノ一ヲ增減スルコトヲ得
第四十六條　本所ニ於テ取扱フ事務ニ關スル手數料ハ前條ノ規定ニ依リ計算シタル金額ニ對シ其十分ノ一ヲ增減スルコトヲ得
第四十七條　本所ニ於テ取扱フ事務ニ關スル手數料ハ前條ノ規定ニ依リ計算シタル金額ニ對シ其十分ノ一ヲ增減スルコトヲ得
第四十八條　本所ニ於テ取扱フ事務ニ關スル手數料ハ前條ノ規定ニ依リ計算シタル金額ニ對シ其十分ノ一ヲ增減スルコトヲ得
第四十九條　本所ニ於テ取扱フ事務ニ關スル手數料ハ前條ノ規定ニ依リ計算シタル金額ニ對シ其十分ノ一ヲ增減スルコトヲ得
第五十條　本所ニ於テ取扱フ事務ニ關スル手數料ハ前條ノ規定ニ依リ計算シタル金額ニ對シ其十分ノ一ヲ增減スルコトヲ得
第五十一條　本所ニ於テ取扱フ事務ニ關スル手數料ハ前條ノ規定ニ依リ計算シタル金額ニ對シ其十分ノ一ヲ增減スルコトヲ得
第五十二條　本所ニ於テ取扱フ事務ニ關スル手數料ハ前條ノ規定ニ依リ計算シタル金額ニ對シ其十分ノ一ヲ增減スルコトヲ得
第五十三條　本所ニ於テ取扱フ事務ニ關スル手數料ハ前條ノ規定ニ依リ計算シタル金額ニ對シ其十分ノ一ヲ增減スルコトヲ得
第五十四條　本所ニ於テ取扱フ事務ニ關スル手數料ハ前條ノ規定ニ依リ計算シタル金額ニ對シ其十分ノ一ヲ增減スルコトヲ得
第五十五條　本所ニ於テ取扱フ事務ニ關スル手數料ハ前條ノ規定ニ依リ計算シタル金額ニ對シ其十分ノ一ヲ增減スルコトヲ得
第五十六條　本所ニ於テ取扱フ事務ニ關スル手數料ハ前條ノ規定ニ依リ計算シタル金額ニ對シ其十分ノ一ヲ增減スルコトヲ得
第五十七條　本所ニ於テ取扱フ事務ニ關スル手數料ハ前條ノ規定ニ依リ計算シタル金額ニ對シ其十分ノ一ヲ增減スルコトヲ得
第五十八條　本所ニ於テ取扱フ事務ニ關スル手數料ハ前條ノ規定ニ依リ計算シタル金額ニ對シ其十分ノ一ヲ增減スルコトヲ得
第五十九條　本所ニ於テ取扱フ事務ニ關スル手數料ハ前條ノ規定ニ依リ計算シタル金額ニ對シ其十分ノ一ヲ增減スルコトヲ得
第六十條　本所ニ於テ取扱フ事務ニ關スル手數料ハ前條ノ規定ニ依リ計算シタル金額ニ對シ其十分ノ一ヲ增減スルコトヲ得
第六十一條　本所ニ於テ取扱フ事務ニ關スル手數料ハ前條ノ規定ニ依リ計算シタル金額ニ對シ其十分ノ一ヲ增減スルコトヲ得
第六十二條　本所ニ於テ取扱フ事務ニ關スル手數料ハ前條ノ規定ニ依リ計算シタル金額ニ對シ其十分ノ一ヲ增減スルコトヲ得
第六十三條　本所ニ於テ取扱フ事務ニ關スル手數料ハ前條ノ規定ニ依リ計算シタル金額ニ對シ其十分ノ一ヲ增減スルコトヲ得
第六十四條　本所ニ於テ取扱フ事務ニ關スル手數料ハ前條ノ規定ニ依リ計算シタル金額ニ對シ其十分ノ一ヲ增減スルコトヲ得
第六十五條　本所ニ於テ取扱フ事務ニ關スル手數料ハ前條ノ規定ニ依リ計算シタル金額ニ對シ其十分ノ一ヲ增減スルコトヲ得
第六十六條　本所ニ於テ取扱フ事務ニ關スル手數料ハ前條ノ規定ニ依リ計算シタル金額ニ對シ其十分ノ一ヲ增減スルコトヲ得
第六十七條　本所ニ於テ取扱フ事務ニ關スル手數料ハ前條ノ規定ニ依リ計算シタル金額ニ對シ其十分ノ一ヲ增減スルコトヲ得
第六十八條　本所ニ於テ取扱フ事務ニ關スル手數料ハ前條ノ規定ニ依リ計算シタル金額ニ對シ其十分ノ一ヲ增減スルコトヲ得
第六十九條　本所ニ於テ取扱フ事務ニ關スル手數料ハ前條ノ規定ニ依リ計算シタル金額ニ對シ其十分ノ一ヲ增減スルコトヲ得
第七十條　本所ニ於テ取扱フ事務ニ關スル手數料ハ前條ノ規定ニ依リ計算シタル金額ニ對シ其十分ノ一ヲ增減スルコトヲ得
第七十一條　本所ニ於テ取扱フ事務ニ關スル手數料ハ前條ノ規定ニ依リ計算シタル金額ニ對シ其十分ノ一ヲ增減スルコトヲ得
第七十二條　本所ニ於テ取扱フ事務ニ關スル手數料ハ前條ノ規定ニ依リ計算シタル金額ニ對シ其十分ノ一ヲ增減スルコトヲ得
第七十三條　本所ニ於テ取扱フ事務ニ關スル手數料ハ前條ノ規定ニ依リ計算シタル金額ニ對シ其十分ノ一ヲ增減スルコトヲ得
第七十四條　本所ニ於テ取扱フ事務ニ關スル手數料ハ前條ノ規定ニ依リ計算シタル金額ニ對シ其十分ノ一ヲ增減スルコトヲ得
第七十五條　本所ニ於テ取扱フ事務ニ關スル手數料ハ前條ノ規定ニ依リ計算シタル金額ニ對シ其十分ノ一ヲ增減スルコトヲ得
第七十六條　本所ニ於テ取扱フ事務ニ關スル手數料ハ前條ノ規定ニ依リ計算シタル金額ニ對シ其十分ノ一ヲ增減スルコトヲ得
第七十七條　本所ニ於テ取扱フ事務ニ關スル手數料ハ前條ノ規定ニ依リ計算シタル金額ニ對シ其十分ノ一ヲ增減スルコトヲ得
第七十八條　本所ニ於テ取扱フ事務ニ關スル手數料ハ前條ノ規定ニ依リ計算シタル金額ニ對シ其十分ノ一ヲ增減スルコトヲ得
第七十九條　本所ニ於テ取扱フ事務ニ關スル手數料ハ前條ノ規定ニ依リ計算シタル金額ニ對シ其十分ノ一ヲ增減スルコトヲ得
第八十條　本所ニ於テ取扱フ事務ニ關スル手數料ハ前條ノ規定ニ依リ計算シタル金額ニ對シ其十分ノ一ヲ增減スルコトヲ得
第八十一條　本所ニ於テ取扱フ事務ニ關スル手數料ハ前條ノ規定ニ依リ計算シタル金額ニ對シ其十分ノ一ヲ增減スルコトヲ得
第八十二條　本所ニ於テ取扱フ事務ニ關スル手數料ハ前條ノ規定ニ依リ計算シタル金額ニ對シ其十分ノ一ヲ增減スルコトヲ得
第八十三條　本所ニ於テ取扱フ事務ニ關スル手數料ハ前條ノ規定ニ依リ計算シタル金額ニ對シ其十分ノ一ヲ增減スルコトヲ得
第八十四條　本所ニ於テ取扱フ事務ニ關スル手數料ハ前條ノ規定ニ依リ計算シタル金額ニ對シ其十分ノ一ヲ增減スルコトヲ得
第八十五條　本所ニ於テ取扱フ事務ニ關スル手數料ハ前條ノ規定ニ依リ計算シタル金額ニ對シ其十分ノ一ヲ增減スルコトヲ得
第八十六條　本所ニ於テ取扱フ事務ニ關スル手數料ハ前條ノ規定ニ依リ計算シタル金額ニ對シ其十分ノ一ヲ增減スルコトヲ得
第八十七條　本所ニ於テ取扱フ事務ニ關スル手數料ハ前條ノ規定ニ依リ計算シタル金額ニ對シ其十分ノ一ヲ增減スルコトヲ得
第八十八條　本所ニ於テ取扱フ事務ニ關スル手數料ハ前條ノ規定ニ依リ計算シタル金額ニ對シ其十分ノ一ヲ增減スルコトヲ得
第八十九條　本所ニ於テ取扱フ事務ニ關スル手數料ハ前條ノ規定ニ依リ計算シタル金額ニ對シ其十分ノ一ヲ增減スルコトヲ得
第九十條　本所ニ於テ取扱フ事務ニ關スル手數料ハ前條ノ規定ニ依リ計算シタル金額ニ對シ其十分ノ一ヲ增減スルコトヲ得
第九十一條　本所ニ於テ取扱フ事務ニ關スル手數料ハ前條ノ規定ニ依リ計算シタル金額ニ對シ其十分ノ一ヲ增減スルコトヲ得
第九十二條　本所ニ於テ取扱フ事務ニ關スル手數料ハ前條ノ規定ニ依リ計算シタル金額ニ對シ其十分ノ一ヲ增減スルコトヲ得
第九十三條　本所ニ於テ取扱フ事務ニ關スル手數料ハ前條ノ規定ニ依リ計算シタル金額ニ對シ其十分ノ一ヲ增減スルコトヲ得
第九十四條　本所ニ於テ取扱フ事務ニ關スル手數料ハ前條ノ規定ニ依リ計算シタル金額ニ對シ其十分ノ一ヲ增減スルコトヲ得
第九十五條　本所ニ於テ取扱フ事務ニ關スル手數料ハ前條ノ規定ニ依リ計算シタル金額ニ對シ其十分ノ一ヲ增減スルコトヲ得
第九十六條　本所ニ於テ取扱フ事務ニ關スル手數料ハ前條ノ規定ニ依リ計算シタル金額ニ對シ其十分ノ一ヲ增減スルコトヲ得
第九十七條　本所ニ於テ取扱フ事務ニ關スル手數料ハ前條ノ規定ニ依リ計算シタル金額ニ對シ其十分ノ一ヲ增減スルコトヲ得
第九十八條　本所ニ於テ取扱フ事務ニ關スル手數料ハ前條ノ規定ニ依リ計算シタル金額ニ對シ其十分ノ一ヲ增減スルコトヲ得
第九十九條　本所ニ於テ取扱フ事務ニ關スル手數料ハ前條ノ規定ニ依リ計算シタル金額ニ對シ其十分ノ一ヲ增減スルコトヲ得
第百條　本所ニ於テ取扱フ事務ニ關スル手數料ハ前條ノ規定ニ依リ計算シタル金額ニ對シ其十分ノ一ヲ增減スルコトヲ得

明治四十年一月十五日

弘前區裁判所
判事　岡保左一郎

○失踪宣告

福井縣遠敷郡西津村小松原第一證四十五番地
不在者　天保丸事　八月一日生

右ニ對シ長女カネノ申立ニ因リ明治四十年一月十五日公告ヲ爲ス
本人ハ不在者ノ父ニシテ明治四十年一月十五日ヨリ滿七年ヲ經過シ尚ホ其生死ノ知レサルニ付キ本人ノ財產ヲ其後順ニ相續セシムヘキ旨ノ申立ヲ爲シタルニ因リ本人ニ對シ本公告ヲ爲ス
本人ハ本公告ノ日ヨリ滿一箇月以內ニ當裁判所ニ出頭スヘシ若シ其期間內ニ出頭セサルトキハ本人ハ失踪ノ宣告ヲ受ケ其財產ハ後順ニ相續セシムヘキ旨ノ申立ヲ爲シタルニ因リ本人ニ對シ本公告ヲ爲ス
本人ハ本公告ノ日ヨリ滿一箇月以內ニ當裁判所ニ出頭スヘシ若シ其期間內ニ出頭セサルトキハ本人ハ失踪ノ宣告ヲ受ケ其財產ハ後順ニ相續セシムヘキ旨ノ申立ヲ爲シタルニ因リ本人ニ對シ本公告ヲ爲ス

明治四十年一月十五日

小樽區裁判所
判事　關谷善雄

○華族世襲財產

豪右世襲財產法第三條ニ依リ左ノ通リ公告ス
一　世襲財產ノ名稱　金二千圓
二　世襲財產ノ種類　公債證書
三　世襲財產ノ管理者ノ住所及氏名　東京市麹町區富士見町三丁目十番地　伯爵　松平康民
四　世襲財產ノ管理者ノ變更ニ關スル規定　世襲財產ノ管理者ハ左ノ場合ニ於テ其職ヲ失フ
一　死亡シタルトキ
二　禁治產ノ宣告ヲ受ケタルトキ
三　破產ノ宣告ヲ受ケタルトキ
四　重罪ノ判決ヲ受ケタルトキ
五　貴族院令第十三條ニ揭ケタル事由ニ因リ貴族院議員ノ資格ヲ失ヒタルトキ
六　貴族院令第十三條ニ揭ケタル事由ニ因リ貴族院議員ノ資格ヲ失ヒタルトキ
七　貴族院令第十三條ニ揭ケタル事由ニ因リ貴族院議員ノ資格ヲ失ヒタルトキ
八　貴族院令第十三條ニ揭ケタル事由ニ因リ貴族院議員ノ資格ヲ失ヒタルトキ
九　貴族院令第十三條ニ揭ケタル事由ニ因リ貴族院議員ノ資格ヲ失ヒタルトキ
十　貴族院令第十三條ニ揭ケタル事由ニ因リ貴族院議員ノ資格ヲ失ヒタルトキ
十一　貴族院令第十三條ニ揭ケタル事由ニ因リ貴族院議員ノ資格ヲ失ヒタルトキ
十二　貴族院令第十三條ニ揭ケタル事由ニ因リ貴族院議員ノ資格ヲ失ヒタルトキ
十三　貴族院令第十三條ニ揭ケタル事由ニ因リ貴族院議員ノ資格ヲ失ヒタルトキ
十四　貴族院令第十三條ニ揭ケタル事由ニ因リ貴族院議員ノ資格ヲ失ヒタルトキ
十五　貴族院令第十三條ニ揭ケタル事由ニ因リ貴族院議員ノ資格ヲ失ヒタルトキ
十六　貴族院令第十三條ニ揭ケタル事由ニ因リ貴族院議員ノ資格ヲ失ヒタルトキ
十七　貴族院令第十三條ニ揭ケタル事由ニ因リ貴族院議員ノ資格ヲ失ヒタルトキ
十八　貴族院令第十三條ニ揭ケタル事由ニ因リ貴族院議員ノ資格ヲ失ヒタルトキ
十九　貴族院令第十三條ニ揭ケタル事由ニ因リ貴族院議員ノ資格ヲ失ヒタルトキ
二十　貴族院令第十三條ニ揭ケタル事由ニ因リ貴族院議員ノ資格ヲ失ヒタルトキ
二十一　貴族院令第十三條ニ揭ケタル事由ニ因リ貴族院議員ノ資格ヲ失ヒタルトキ
二十二　貴族院令第十三條ニ揭ケタル事由ニ因リ貴族院議員ノ資格ヲ失ヒタルトキ
二十三　貴族院令第十三條ニ揭ケタル事由ニ因リ貴族院議員ノ資格ヲ失ヒタルトキ
二十四　貴族院令第十三條ニ揭ケタル事由ニ因リ貴族院議員ノ資格ヲ失ヒタルトキ
二十五　貴族院令第十三條ニ揭ケタル事由ニ因リ貴族院議員ノ資格ヲ失ヒタルトキ
二十六　貴族院令第十三條ニ揭ケタル事由ニ因リ貴族院議員ノ資格ヲ失ヒタルトキ
二十七　貴族院令第十三條ニ揭ケタル事由ニ因リ貴族院議員ノ資格ヲ失ヒタルトキ
二十八　貴族院令第十三條ニ揭ケタル事由ニ因リ貴族院議員ノ資格ヲ失ヒタルトキ
二十九　貴族院令第十三條ニ揭ケタル事由ニ因リ貴族院議員ノ資格ヲ失ヒタルトキ
三十　貴族院令第十三條ニ揭ケタル事由ニ因リ貴族院議員ノ資格ヲ失ヒタルトキ
三十一　貴族院令第十三條ニ揭ケタル事由ニ因リ貴族院議員ノ資格ヲ失ヒタルトキ
三十二　貴族院令第十三條ニ揭ケタル事由ニ因リ貴族院議員ノ資格ヲ失ヒタルトキ
三十三　貴族院令第十三條ニ揭ケタル事由ニ因リ貴族院議員ノ資格ヲ失ヒタルトキ
三十四　貴族院令第十三條ニ揭ケタル事由ニ因リ貴族院議員ノ資格ヲ失ヒタルトキ
三十五　貴族院令第十三條ニ揭ケタル事由ニ因リ貴族院議員ノ資格ヲ失ヒタルトキ
三十六　貴族院令第十三條ニ揭ケタル事由ニ因リ貴族院議員ノ資格ヲ失ヒタルトキ
三十七　貴族院令第十三條ニ揭ケタル事由ニ因リ貴族院議員ノ資格ヲ失ヒタルトキ
三十八　貴族院令第十三條ニ揭ケタル事由ニ因リ貴族院議員ノ資格ヲ失ヒタルトキ
三十九　貴族院令第十三條ニ揭ケタル事由ニ因リ貴族院議員ノ資格ヲ失ヒタルトキ
四十　貴族院令第十三條ニ揭ケタル事由ニ因リ貴族院議員ノ資格ヲ失ヒタルトキ
四十一　貴族院令第十三條ニ揭ケタル事由ニ因リ貴族院議員ノ資格ヲ失ヒタルトキ
四十二　貴族院令第十三條ニ揭ケタル事由ニ因リ貴族院議員ノ資格ヲ失ヒタルトキ
四十三　貴族院令第十三條ニ揭ケタル事由ニ因リ貴族院議員ノ資格ヲ失ヒタルトキ
四十四　貴族院令第十三條ニ揭ケタル事由ニ因リ貴族院議員ノ資格ヲ失ヒタルトキ
四十五　貴族院令第十三條ニ揭ケタル事由ニ因リ貴族院議員ノ資格ヲ失ヒタルトキ
四十六　貴族院令第十三條ニ揭ケタル事由ニ因リ貴族院議員ノ資格ヲ失ヒタルトキ
四十七　貴族院令第十三條ニ揭ケタル事由ニ因リ貴族院議員ノ資格ヲ失ヒタルトキ
四十八　貴族院令第十三條ニ揭ケタル事由ニ因リ貴族院議員ノ資格ヲ失ヒタルトキ
四十九　貴族院令第十三條ニ揭ケタル事由ニ因リ貴族院議員ノ資格ヲ失ヒタルトキ
五十　貴族院令第十三條ニ揭ケタル事由ニ因リ貴族院議員ノ資格ヲ失ヒタルトキ
五十一　貴族院令第十三條ニ揭ケタル事由ニ因リ貴族院議員ノ資格ヲ失ヒタルトキ
五十二　貴族院令第十三條ニ揭ケタル事由ニ因リ貴族院議員ノ資格ヲ失ヒタルトキ
五十三　貴族院令第十三條ニ揭ケタル事由ニ因リ貴族院議員ノ資格ヲ失ヒタルトキ
五十四　貴族院令第十三條ニ揭ケタル事由ニ因リ貴族院議員ノ資格ヲ失ヒタルトキ
五十五　貴族院令第十三條ニ揭ケタル事由ニ因リ貴族院議員ノ資格ヲ失ヒタルトキ
五十六　貴族院令第十三條ニ揭ケタル事由ニ因リ貴族院議員ノ資格ヲ失ヒタルトキ
五十七　貴族院令第十三條ニ揭ケタル事由ニ因リ貴族院議員ノ資格ヲ失ヒタルトキ
五十八　貴族院令第十三條ニ揭ケタル事由ニ因リ貴族院議員ノ資格ヲ失ヒタルトキ
五十九　貴族院令第十三條ニ揭ケタル事由ニ因リ貴族院議員ノ資格ヲ失ヒタルトキ
六十　貴族院令第十三條ニ揭ケタル事由ニ因リ貴族院議員ノ資格ヲ失ヒタルトキ
六十一　貴族院令第十三條ニ揭ケタル事由ニ因リ貴族院議員ノ資格ヲ失ヒタルトキ
六十二　貴族院令第十三條ニ揭ケタル事由ニ因リ貴族院議員ノ資格ヲ失ヒタルトキ
六十三　貴族院令第十三條ニ揭ケタル事由ニ因リ貴族院議員ノ資格ヲ失ヒタルトキ
六十四　貴族院令第十三條ニ揭ケタル事由ニ因リ貴族院議員ノ資格ヲ失ヒタルトキ
六十五　貴族院令第十三條ニ揭ケタル事由ニ因リ貴族院議員ノ資格ヲ失ヒタルトキ
六十六　貴族院令第十三條ニ揭ケタル事由ニ因リ貴族院議員ノ資格ヲ失ヒタルトキ
六十七　貴族院令第十三條ニ揭ケタル事由ニ因リ貴族院議員ノ資格ヲ失ヒタルトキ
六十八　貴族院令第十三條ニ揭ケタル事由ニ因リ貴族院議員ノ資格ヲ失ヒタルトキ
六十九　貴族院令第十三條ニ揭ケタル事由ニ因リ貴族院議員ノ資格ヲ失ヒタルトキ
七十　貴族院令第十三條ニ揭ケタル事由ニ因リ貴族院議員ノ資格ヲ失ヒタルトキ
七十一　貴族院令第十三條ニ揭ケタル事由ニ因リ貴族院議員ノ資格ヲ失ヒタルトキ
七十二　貴族院令第十三條ニ揭ケタル事由ニ因リ貴族院議員ノ資格ヲ失ヒタルトキ
七十三　貴族院令第十三條ニ揭ケタル事由ニ因リ貴族院議員ノ資格ヲ失ヒタルトキ
七十四　貴族院令第十三條ニ揭ケタル事由ニ因リ貴族院議員ノ資格ヲ失ヒタルトキ
七十五　貴族院令第十三條ニ揭ケタル事由ニ因リ貴族院議員ノ資格ヲ失ヒタルトキ
七十六　貴族院令第十三條ニ揭ケタル事由ニ因リ貴族院議員ノ資格ヲ失ヒタルトキ
七十七　貴族院令第十三條ニ揭ケタル事由ニ因リ貴族院議員ノ資格ヲ失ヒタルトキ
七十八　貴族院令第十三條ニ揭ケタル事由ニ因リ貴族院議員ノ資格ヲ失ヒタルトキ
七十九　貴族院令第十三條ニ揭ケタル事由ニ因リ貴族院議員ノ資格ヲ失ヒタルトキ
八十　貴族院令第十三條ニ揭ケタル事由ニ因リ貴族院議員ノ資格ヲ失ヒタルトキ
八十一　貴族院令第十三條ニ揭ケタル事由ニ因リ貴族院議員ノ資格ヲ失ヒタルトキ
八十二　貴族院令第十三條ニ揭ケタル事由ニ因リ貴族院議員ノ資格ヲ失ヒタルトキ
八十三　貴族院令第十三條ニ揭ケタル事由ニ因リ貴族院議員ノ資格ヲ失ヒタルトキ
八十四　貴族院令第十三條ニ揭ケタル事由ニ因リ貴族院議員ノ資格ヲ失ヒタルトキ
八十五　貴族院令第十三條ニ揭ケタル事由ニ因リ貴族院議員ノ資格ヲ失ヒタルトキ
八十六　貴族院令第十三條ニ揭ケタル事由ニ因リ貴族院議員ノ資格ヲ失ヒタルトキ
八十七　貴族院令第十三條ニ揭ケタル事由ニ因リ貴族院議員ノ資格ヲ失ヒタルトキ
八十八　貴族院令第十三條ニ揭ケタル事由ニ因リ貴族院議員ノ資格ヲ失ヒタルトキ
八十九　貴族院令第十三條ニ揭ケタル事由ニ因リ貴族院議員ノ資格ヲ失ヒタルトキ
九十　貴族院令第十三條ニ揭ケタル事由ニ因リ貴族院議員ノ資格ヲ失ヒタルトキ
九十一　貴族院令第十三條ニ揭ケタル事由ニ因リ貴族院議員ノ資格ヲ失ヒタルトキ
九十二　貴族院令第十三條ニ揭ケタル事由ニ因リ貴族院議員ノ資格ヲ失ヒタルトキ
九十三　貴族院令第十三條ニ揭ケタル事由ニ因リ貴族院議員ノ資格ヲ失ヒタルトキ
九十四　貴族院令第十三條ニ揭ケタル事由ニ因リ貴族院議員ノ資格ヲ失ヒタルトキ
九十五　貴族院令第十三條ニ揭ケタル事由ニ因リ貴族院議員ノ資格ヲ失ヒタルトキ
九十六　貴族院令第十三條ニ揭ケタル事由ニ因リ貴族院議員ノ資格ヲ失ヒタルトキ
九十七　貴族院令第十三條ニ揭ケタル事由ニ因リ貴族院議員ノ資格ヲ失ヒタルトキ
九十八　貴族院令第十三條ニ揭ケタル事由ニ因リ貴族院議員ノ資格ヲ失ヒタルトキ
九十九　貴族院令第十三條ニ揭ケタル事由ニ因リ貴族院議員ノ資格ヲ失ヒタルトキ
百　貴族院令第十三條ニ揭ケタル事由ニ因リ貴族院議員ノ資格ヲ失ヒタルトキ

第7066号　本文